

# 郡山市ふれあい科学館年報

— 平成25年度版 —



第24回 星の講演会  
「よくわかるブラックホールのひみつ」



産総研キャラバン2014こおりやま



六太と日々人の宇宙広場  
オープニングセレモニー



スペースパーク企画展  
「エレメントハンター」



ロボットで遊ボット!



スペースパークボランティアの会 10周年記念祝賀会

郡山市ふれあい科学館指定管理者  
公益財団法人郡山市文化・学び振興公社



# 目次

はじめに

## Ⅰ 施設のあらまし

- 1 設置目的・・・・・・・・・・ 1
- 2 運営方針・・・・・・・・・・ 2
- 3 施設概要・・・・・・・・・・ 3
- 4 組織概要・・・・・・・・・・ 4
- 5 歴代館長・・・・・・・・・・ 5
- 6 沿革・・・・・・・・・・ 5

## Ⅱ 平成25年度事業活動実績

- 1 市民鑑賞型事業・・・・・・・・ 11
  - (1) 宇宙劇場番組投映・・・・・・・・ 11
  - (2) 音楽コンサート・・・・・・・・ 16
  - (3) 鑑賞型企画展・・・・・・・・ 17
- 2 市民参加型事業
  - (1) 科学普及・・・・・・・・ 18
  - (2) 講演会等・・・・・・・・ 25
  - (3) 作品募集・・・・・・・・ 32
  - (4) 参加型企画展・・・・・・・・ 35
  - (5) クラブ活動・・・・・・・・ 38
- 3 その他の事業・・・・・・・・ 43
- 4 ボランティア関係事業・・・・・・・・ 51

## Ⅲ 平成25年度広報・サービス活動

- 1 広報PR活動
  - (1) 広報戦略活動・・・・・・・・ 59
  - (2) 広報紙及び雑誌・看板等・・・・ 59
- 2 営業活動
  - (1) 営業訪問の実態・・・・・・・・ 60
  - (2) 営業訪問の成果と今後の方向性・ 60

## Ⅳ 平成25年度決算・・・・・・・・ 62

## Ⅴ 施設利用状況

- 1 月別入館者状況・・・・・・・・ 63
- 2 施設別入館者状況・・・・・・・・ 66
- 3 宇宙劇場区分別入館者状況・・・・ 70
- 4 展示ゾーン区分別入館者状況・・・・ 71

## Ⅵ その他

- 1 条例・規則・・・・・・・・ 75
- 2 利用案内・・・・・・・・ 82
- 3 スペースパーク  
ボランティアの会会則・・・・・・・・ 83

# はじめに

平成 25 年度は、当館が郡山市より新たに指定管理を受けるために、これまでの事業内容の見直しや進め方の再検討を行ったり、当館独自のボランティア団体であるスペースパークボランティアの会（S.P.V）が設立から 10 周年を迎えるなど、次の新しい歴史を積み重ねるための準備を整える一年となりました。

そんな中で実施した特筆すべき事業と言えば、5 月下旬にオーストラリアのパークス天文台の職員が当館を訪れ、県内の天文部の高校生を対象にして、遠い宇宙に点在する“パルサー”までの距離を計測するという観測実習でした。これはオーストラリア連邦科学産業研究機構（CSIRO）が東日本大震災で被災した東北地方の高校生を応援したいと申し出て実現したもので、今回、アジアでは初めて、岩手県の水沢市にある施設と当館において実施されました。県内各地から二日間にわたって高校生が当館に集い、英語による講義を受けた後に館内のパソコンから現地の電波望遠鏡を遠隔操作してパルサーを観測しましたが、天文台に勤務しなければならない経験を、しかも次世代を担う高校生ができたのはとても意義のあることだったと思います。この出張授業は継続されるものではないので今後の予定はさしあたってないとは言うものの、大いに当館の存在価値を高める事業となりました。

ところで、今年度世界的な規模で注目された天体現象として、『アイソン彗星』の飛来がありました。それにともない当館でも独自の企画展「アイソン・スペシャル！」を実施し、館全体でアイソン彗星一色となるキャンペーンを行いました。テレビや新聞等で取り上げられる頻度が増すにつれ世の中全体で関心が高まり、11 月下旬には郊外で日の出前の観望会も催して多くの市民の皆様にもリアルタイムで天体ショーを楽しんでもらいました。さらに興味関心を高めようと彗星が太陽を通過するのを見計らって二回目の観望会も計画しましたが、太陽接近の際に彗星自体が消滅してしまい、最高の盛り上がりの直前に事業を終了せざるをえなかったのは大いに心残りでした。それでも、市民の皆様への宇宙へのロマンをかきたてる事業を展開できたのは良かったと思います。

さて、東日本大震災から三年目となる本年、まだまだ完全に震災前の状態に戻ったとは言い難い中でしたが、年末には第 3 回目となる「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」を実施しました。本来であれば昨年度実施予定の事業だったのですが震災の影響で一年繰り延べ、三年越しで行うコンテストとなりました。最終的に県内外から前回は大きく上回る数の作品が寄せられ、震災前と変わらずに輝く美しい星と月の風景が収められた写真を通して、改めて福島県の自然の豊かさを実感することができました。コンテスト終了後は入賞した作品を写真集として刊行し、全国に向けて福島県の元気を発信しました。あわせて、作品自体はこれから全国各地で開催されることになる巡回展で一般にも公開されることになっています。

また、今年度は、例年にも増して多くの講演会を実施することができました。秋に仙台市で日本天文学会が開催された期間をとらえ、その前後に何人もの天文学者の方々に来館してもらい、多くの市民の皆様に向けて宇宙に関するさまざまな観点から話をさせていただきました。一回ごとの参加者数は必ずしも多くはありませんでしたが、それでも宇宙や天体現象に強い興味を持ち、知的好奇心に満ちた市民の方々の期待に十分応えられる質の高い講義内容であったと自負しています。

終わりになりますが、平成 13 年 10 月の開館以来今日に至るまで、常に多くの市民の皆様を支えられながら歩みを進めてきた当館ですが、これからも「科学する心を喚起」するとともに「コミュニケーションを重視」し、「ボランティア参加型」の科学館としてなお一層充実した施設運営を図っていきたいと気持ちを新たにしている所です。

郡山市ふれあい科学館  
館長 伊 東 利 幸

## I 施設のあらし

### 1 設置目的

郡山市ふれあい科学館スペースパークは、宇宙の時代といわれている21世紀において、人類が羽ばたこうとしている広大な宇宙やそれを支える様々な科学などに触れ、子どもから大人までの幅広い年代の皆さんに、宇宙や科学に対しての夢や希望を育むとともに、多くの皆さんがこの場集い、様々なふれあいを通じて、市民文化が向上することを目指しており、具体的には、以下の目的で設置した施設となっています。

#### (1) 理科離れ、科学技術離れへの対応

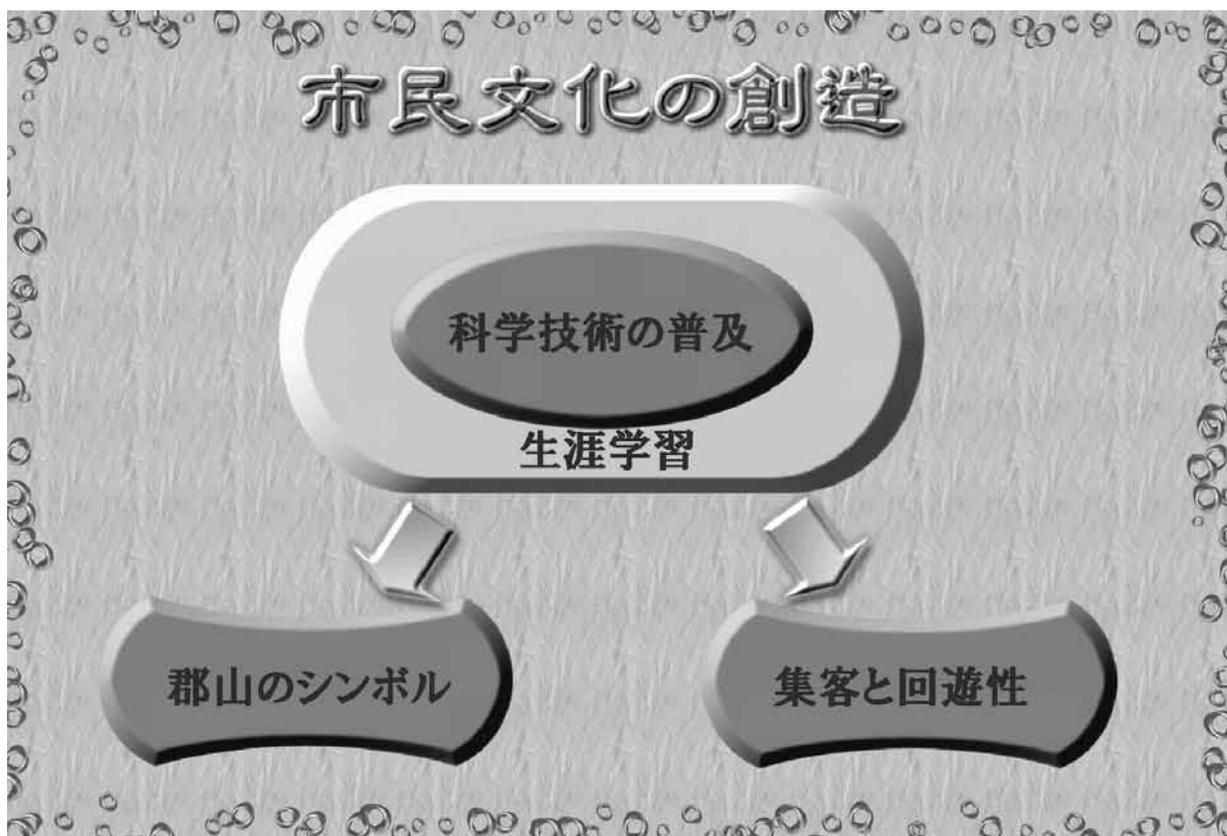
近年の子どもたちの理科離れや科学技術離れに歯止めをかける県内初の本格的な理工系科学館を建設し、楽しみながら学べるような施設とする。

#### (2) 市民の生涯学習意欲への対応

科学技術の普及を通じ、多世代の市民が利用できる生涯学習施設として活用する。

#### (3) 都心部の回遊性と集客

21世紀の郡山を象徴する高層ビル“ビッグアイ”のシンボル施設として設置し、回遊性と集客力を向上することにより、市街地の活性化を図る。



## 2 運営方針

### 基本コンセプト

#### 宇宙の中のわたしたち

わたしたちの存在する宇宙とわたしたちの関わり

### 基本テーマ

#### 地球人から宇宙人へ

地球人も宇宙に存在する宇宙人の一人であることをさまざまな宇宙的体験で認識し、宇宙の視点から地球人であることを再認識

上記のコンセプトやテーマのほか、施設設置の目的等を達成し、常に成長する科学館“グローイング・ミュージアム”を実現するため、以下のポイントを重視した施設運営を図っています。

#### ポイント1 科学する心を喚起する科学館

科学に関する一通りの知識を理解させる情報発信を重視した「完結型の科学館」から、能動的・主体的な活動を促し、無関心層にもアピールできる参加者の視点を重視した「科学する心を喚起する科学館」へと成長することを目指しています。

#### ポイント2 コミュニケーション重視の科学館

体験性やインタラクティブ性を重視し、機械的に情報を発信する「展示情報重視の科学館」から、人と人とのコミュニケーションを通じた知的体験により情報を発信する「コミュニケーション重視の科学館」へと成長することを目指しています。

#### ポイント3 ボランティア参加型科学館

科学館が一方的に運営体制や案内、安全管理等を行う「サービス型の科学館」から、経験や知識の有効活用、市民交流の活性化等の視点を取り入れた「ボランティア参加型の科学館」となることを目指しています。

また、来館者や地域と科学館が有機的に結びつき、レベルを向上することができるよう、以下の視点を重視した事業展開を行っています。



#### ◎無関心層◎

展望ロビーの一般利用者のほか、郡山駅や商業施設の利用者など、特に宇宙や科学に興味のない無関心層に対しては、遊び感覚で宇宙や科学を楽しむことができ、興味を喚起させる事業展開を図ります。

#### ◎関心層◎

子ども連れの家族や小中学校等の団体など、宇宙や科学というテーマに興味をもって来館する関心層に対しては、テーマ性のある番組や参加体験型の展示のほか、講演会やサイエンスショー・ワークショップなどを通じて、関心の度合いを高める事業展開を図ります。

#### ◎探求層◎

宇宙や科学に興味があり、自らその先にあるものを追求する探求層に対しては、目的に応じてデータ化された情報の提供や専門機関等からの情報支援等により、様々な知的欲求を満足できる事業展開を図ります。

### 3 施設概要



所在地：福島県郡山市駅前二丁目11番1号  
(ビッグアイ20～24階)

構造：地下1階、地上24階、鉄骨造  
※ビル全体の構造(地上高133m)

面積：4,337.37㎡(うち専用部分3,459㎡)

#### 宇宙劇場 — 23・24F —

劇場、ホワイエ

##### ○規模

直径23m(傾斜型)、座席数238席

##### ○機器

スーパーヘリオス、全天ビデオシステムほか

##### ○展示品

アースタッチング

#### 展望ロビー — 22F —

メインエントランス、カフェ・ショップほか

##### ○展示品

Nゲージ鉄道ジオラマ(運転シミュレーター)、  
シンボルオブジェ「プライマル」、  
マップオンプラネットほか

#### 展示ゾーン — 21F —

##### ○展示品

— プロローグ —

プロローグ「惑星」、  
コペルニクスの考えた宇宙、  
ハーシェルのが考えた宇宙、  
ハッブルのが考えた宇宙ほか

— スペースフロンティア —

国際宇宙ステーション「きぼう」、  
宇宙探検シミュレーション、  
ムーンジャンプ、トリプルスピンほか

— クエスト・オブ・ザ・ユニバース —

すばる望遠鏡模型&主鏡、宇宙のポートレート、  
進化する宇宙・ふくらむ宇宙、プラズマボール、  
隕石、太陽系シミュレーターほか

— アースウォッチング —

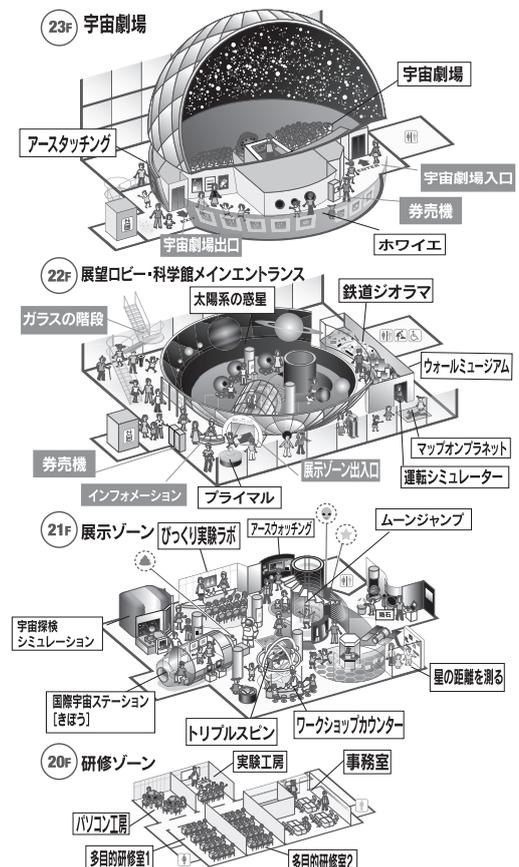
アースウォッチングほか

#### 研修ゾーン — 20F —

多目的研修室、パソコン工房、実験工房、ボランティア室、事務室ほか

#### 郡山市ふれあい科学館 フロア案内

#### スペースパークフロアマップ



## 総事業費

4,331,480,716円

－年度別内訳－

H11： 542,395,000円

H12： 2,594,887,000円

H13： 1,194,198,716円

－内容別内訳－

建設費： 2,810,762,998円

床取得費： 1,509,000,000円

事務費： 11,717,718円

－財源別内訳－

地域総合整備事業債： 911,300,000円

基金繰入金(寄附金)： 2,810,762,998円(寄附金総額： 3,023,812,680円)

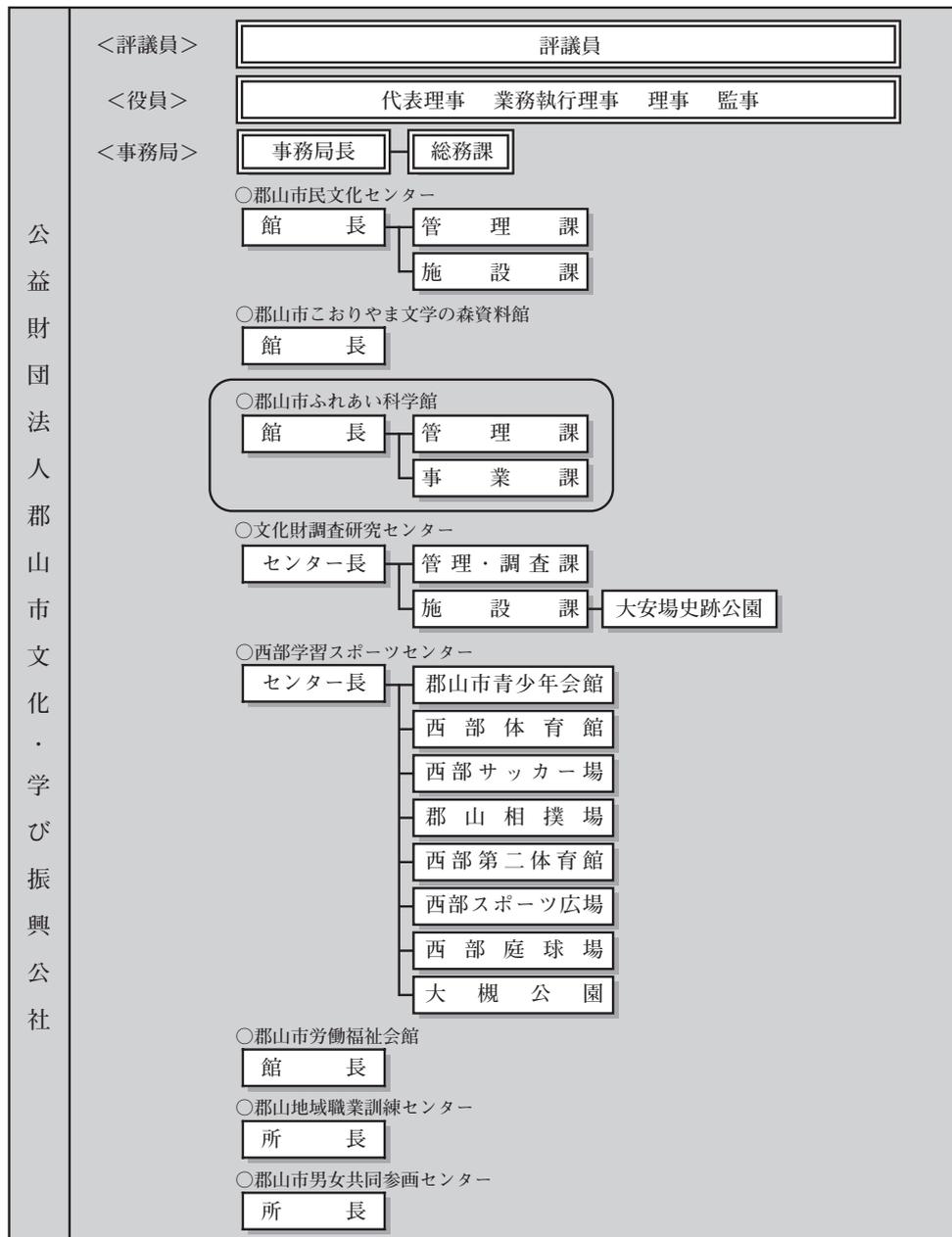
\* 寄附金残額(213,049,682円)は展示更新基金として積立

雇用保険料個人負担分： 14,583円

一般財源： 609,403,135円

## 4 組織概要

### (1) 組織図<平成25年度>



## (2) 職員配置<平成26年3月31日現在>

館長(1)、参事(1)

-管理課(6)-

課長(1)、主任(1)、技査(1)、臨時職員(3)

-事業課(29)-

課長(1)、主任(2)、主査(4)、主事(2)、常勤嘱託職員(1)、非常勤嘱託職員(1)、臨時職員(18)

合計37人

## 5 歴代館長

|       |      |                       |
|-------|------|-----------------------|
| 初代館長  | 永戸法夫 | 平成13年10月1日～平成14年3月31日 |
| 第2代館長 | 大森高志 | 平成14年4月1日～平成16年3月31日  |
| 第3代館長 | 箭内政勝 | 平成16年4月1日～平成19年3月31日  |
| 第4代館長 | 佐藤秀一 | 平成19年4月1日～平成22年3月31日  |
| 第5代館長 | 遠藤育夫 | 平成22年4月1日～平成25年3月31日  |
| 第6代館長 | 伊東利幸 | 平成25年4月1日就任           |

## 6 沿革

### ▶平成10年度

#### <平成10年4月>

○郡山駅西口再開発ビルの建設計画発表→(仮称)ふれあい科学館建設構想発表

※郡山市教育委員会青少年課が所管

#### <平成10年10月～平成11年1月>

○基本計画策定

### ▶平成11年度

#### <平成11年5月～11月>

○基本実施設計策定

#### <平成12年3月>

○財団法人郡山市文化施設管理公社への管理運営委託協定書締結

### ▶平成12年度

#### <平成12年4月>

○郡山市教育委員会内に科学館準備室設置

#### <平成12年9月>

○科学館キャラクター決定(制作者:漫画家 松本零士氏)

#### <平成12年12月>

○科学館愛称決定(愛称:スペースパーク) ※応募総数:2,849点

#### <平成13年3月>

○郡山市ふれあい科学館条例制定

### ▶平成13年度

#### <平成13年4月>

○ビッグアイに科学館準備室移転

#### <平成13年7月>

○シンボルマーク及びロゴタイプ決定

**<平成13年8月>**

- 22階展望ロビーをプレオープン

**<平成13年10月>**

- 郡山市ふれあい科学館開館
  - ※郡山市ふれあい科学館オープン式を開催、名誉館長を松本零士氏に委嘱
- 郡山市ふれあい科学館開館記念“宇宙へワープ”開催（会場：郡山市民文化センター）
  - ※日本科学未来館館長毛利衛氏、松本零士氏、国立天文台助教授広報普及室長渡部潤一氏ほか出席

**<平成13年11月>**

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“第1回星の講演会「すばる望遠鏡が見た新たな宇宙」”開催

**<平成13年12月>**

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“サイエンスショー”開催

**<平成14年1月>**

- ギネス認定（「地上から世界で一番高いところにあるプラネタリウム」）

**<平成14年2月>**

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“エネルギー体験館”開催(会場：ビッグパレットふくしま)
- 有料ゾーン入館者が10万人突破

**<平成14年3月>**

- 展望ロビー入館者が郡山市人口（336,943人）突破
- ロボット犬アイボ導入

**▶平成14年度**

**<平成14年6月>**

- 鉄道ジオラマボランティア33人活動開始

**<平成14年7月>**

- 開館1周年記念“松本零士講演会”開催

**<平成14年8月>**

- 展望ロビー入館者が50万人突破

**<平成14年10月>**

- 常陸宮両殿下御視察
- 開館1周年記念事業“鉄道フェスティバル”開催

**<平成14年12月>**

- 開館1周年記念“サイエンスショー”開催

**<平成15年3月>**

- 展示ゾーン新展示物設置
  - H2 ロケットフェアリング（協力：宇宙開発事業団）
  - 船外活動装置装備宇宙服（協力：日本宇宙少年団）

**▶平成15年度**

**<平成15年4月>**

- 特別展“毛利宇宙飛行士の部屋～ユニバソロジーの世界～”開催

**<平成15年6月>**

- 宇宙飛行士で日本宇宙少年団団長の毛利衛氏がこおりやま分団の激励のため来館

**<平成15年7月>**

- “松本零士のスペースアニメ展”開催
- “松本零士のふれあいトーク”開催
- スペースパークボランティア活動開始

<平成16年2月>

- スペースパークボランティアの会設立

<平成16年3月>

- 展望ロビー入館者が100万人突破

▶平成16年度

<平成16年5月>

- リニア彗星、ニート彗星の接近に合わせ彗星大観望会を開催

<平成16年6月>

- 有料ゾーン入館者が50万人突破

<平成16年9月>

- 高円宮妃殿下御視察

<平成16年10月>

- “郡山市制施行80周年・合併40年記念 郡山市ふれあい科学館開館3周年記念 小柴昌俊講演会「心に夢のタマゴを持とう」”開催

<平成16年11月>

- 展示ゾーン新展示物設置 パラボラアンテナ（協力：国立天文台野辺山電波観測所）
- 天文教育普及研究会・東北支部会開催

<平成17年2月>

- 県内5館連携事業“100年前の実験に挑戦!!—石井研堂とその時代—”開催（福島県立博物館、福島県立図書館、磐梯山噴火記念館、郡山市立美術館、郡山市ふれあい科学館）
- 郡山市制施行80周年・合併40年記念事業・郡山市ふれあい科学館開館3周年記念事業“第10回星の講演会「神田 紅 宇宙を語る」”開催

▶平成17年度

<平成17年9月>

- アインシュタイン特別企画 ～不思議な世界 紹介～開催（9・10月）

<平成18年3月>

- 展示ゾーンに「びっくり実験ラボ」オープン
- オープニングイベント“杉木優子びっくりサイエンスショー”開催

▶平成18年度

<平成18年9月>

- 郡山市ふれあい科学館開館5周年記念“全館企画「宇宙飛行士スペシャル」”開催（9・10月）

<平成18年10月>

- 郡山市ふれあい科学館開館5周年記念事業“飛び出せ！郡山から未来へ！～宇宙開拓の未来～”開催
- 郡山市ふれあい科学館開館5周年記念投映“「銀河鉄道の星物語 宮沢賢治が見た風景～小岩井農場から見る銀河鉄道の星座たち～”開催
- 郡山市ふれあい科学館開館5周年記念投映“「螺旋の宇宙誌」”開催
- 国際宇宙ステーション（ISS）の日本上空通過に合わせ観望会を開催

<平成18年11月>

- 郡山市ふれあい科学館開館5周年記念投映“「ふくしまから宇宙へ」”開催

<平成19年3月>

- “ロボットで遊ボット！特別企画「ASIMOが郡山にやってくる！」”開催

▶平成19年度

<平成19年7月>

- “夏休み特別番組「銀河鉄道999 ～星空はタイムマシーン～ 太陽系・恐竜絶滅編」”投映開始

<平成19年10月>

- 「第5回郡山地域ホームページコンテスト2007」教育・公的機関部門 優秀賞受賞

<平成19年12月>

- “スペースパーク企画展「ダンボールで遊ぼう～迷路でたんけん♪～」開催
- 展望ロビー入館者が200万人突破

<平成20年1月>

- 有料ゾーン入館者が100万人突破

▶平成20年度

<平成20年6月>

- “「JAXA太陽ふしぎ展」”開催
- “特別展「星出さん宇宙へ行く！～星出彰彦宇宙飛行士企画展～」”開催

<平成20年7月>

- スペースパークの新しい仲間アザラシロボットパロ命名「ミライ」
- “夏休み特別番組「ダイナソーDXパタゴニア・巨大恐竜の謎」”放映開始

<平成20年12月>

- “全館企画「月の科学」オープニングイベント「月の石がやってきた！」”開催
- “冬休み特別番組「宇宙エレベーター～科学者の夢見る未来～」”放映開始

▶平成21年度

<平成21年4月>

- 世界天文年2009 世界主要企画「世界一周観望会in郡山」開催

<平成21年7月>

- “夏休み特別番組「3Dワンダフルプラネット」”放映開始
- “世界天文年2009「部分日食観望会」”開催

<平成21年11月>

- “全館企画「世界天文年2009～ガリレオの世界を体験しよう～」”開催

<平成21年12月>

- “スペースパーク企画展「ようこそ！ダーウィンの部屋へ」”開催
- “冬休み特別番組「アースストーリー～恐竜の進化とヒトの未来～」”放映開始
- “世界天文年2009 グランドフィナーレ in 郡山”開催

▶平成22年度

<平成22年7月>

- “宇宙劇場 夏休み特別番組「プレヒストリック・パーク」”放映開始

<平成22年11月>

- “全館企画「ようこそ！宇宙ステーションへ」”開催

<平成22年12月>

- “スペースパーク企画展「レゴ・エデュケーション展 ～みて・さわって・うごかして～」開催
- “宇宙劇場 冬休み特別番組「サンタVSスノーマン」”放映開始

<平成23年3月>

- 「東日本大震災」により3月11日より休館

▶平成23年度

<平成23年4月>

- 「東日本大震災」により4月28日まで休館、4月29日より開館
- “スペースパーク企画展「～視覚の科学～トリックアート展」”開催

<平成23年7月>

- “宇宙劇場 夏休み特別番組「Bugs! ～昆虫たちの不思議な物語～」”放映開始

○“はやぶさがやってきた～はやぶさ帰還カプセル特別展示～”開催

<平成23年8月>

○“「『宙(そら)のまにまに』の世界～作品原画展&柏原麻実先生講演会～」”開催

○有料ゾーン入館者が150万人突破

<平成23年10月>

○郡山市ふれあい科学館開館10周年記念イベント開催

・開館10周年記念セレモニー

・記念講演 渡部潤一氏「宇宙この10年とその未来」

・科学の祭典 in こおりやま

・鉄道フェスティバル「きかんしゃトーマスとなかまたち」

<平成23年12月>

○“郡山市ふれあい科学館開館10周年記念「ドラえもんの科学みらい展」”開催

○“宇宙劇場 冬休み特別番組「シーレックス」”投映開始

<平成24年1月>

○「宇宙劇場の改修」により1月10日より休館

<平成24年2月>

○展望ロビー入館者が300万人突破

▶平成24年度

<平成24年4月>

○“宇宙劇場リニューアルオープン記念セレモニー”を開催

<平成24年5月>

○郡山駅西口駅前広場及びペDESTリアンデッキを会場に、“金環日食観望会”を開催

<平成24年6月>

○郡山駅西口駅前広場を会場に、“金星太陽面通過観望会”を開催

<平成24年7月>

○“夏休みドーム映像番組「月の魔法とサンゴの海」”を7月14日から16日、7月21日から8月26日まで投映

<平成24年12月>

○“スペースパーク企画展「からくり人形の世界展」”を12月1日から1月14日まで開催

○“冬のドーム映像番組「いきものがたり」”を12月1日から2月24日までロングラン投映

<平成25年1月>

○全国のプラネタリウム22施設の関係者とプラネタリウムメーカー技術者の合わせて55人が参加して“ハイブリッドプラネタリウム研修会”を開催

<平成25年2月>

○“イブニングアワー「アラスカからオーロラ生中継！」”を夜間投映

○独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と共催し、“星出宇宙飛行士ミッション報告会～こおりやまに宇宙飛行士がやってくる！～”を郡山市民文化センター中ホールで開催

▶平成25年度

<平成25年5月>

○“パークス天文台遠隔操作による電波観測実習”を開催

<平成25年7月>

○“夏休みドーム映像番組「宇宙兄弟 一点のひかり」”を7月20日から8月25日まで投映

<平成25年11月>

○“全館企画「アイソンスペシャル！」”を11月9日から12月8日まで開催

○“アイソン彗星観望会”を郡山市総合地方卸売市場駐車場で開催

**<平成25年12月>**

- “冬のドーム映像番組「恐竜探検隊 パンゲアのひみつ」”を12月1日から1月13日まで放映
- “スペースパーク企画展「エレメントハンター」 ～元素の謎を探れ！～”を12月7日から1月13日まで開催

**<平成26年1月>**

- “天文教育普及研究会東北支部研究会”を開催

**<平成26年3月>**

- “スペースパークボランティアの会設立10周年記念式典・記念講演会・記念祝賀会”を開催

## Ⅱ 平成25年度事業活動実績

### 1 市民鑑賞型事業

#### (1) 宇宙劇場番組放映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組を制作するとともに各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組の放映を実施した。

＜宇宙劇場の番組放映開始時刻＞ ※放映時間は約45分間

| 曜日／回                                      | 第1回目   | 第2回目   | 第3回目 | 第4回目   | 第5回目   | 第6回目   |
|---|--------|--------|------|--------|--------|--------|
| 平日  | 10時15分 | 11時30分 | 14時  | 15時30分 |        | 19時(※) |
| 土曜・日曜・祝日                                  | 11時    | 12時30分 | 14時  | 15時30分 | 17時    |        |
| 夏休み期間<br>冬期間(12/1～1/13)の土曜・日曜・祝日<br>冬休み期間 | 10時30分 | 11時40分 | 13時  | 14時20分 | 15時40分 | 17時    |

※ 金曜日のみ放映

#### プラネタリウム 一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を制作し、基本的に2ヶ月ごとに更新して放映した。

放映時間:平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目、冬(12/1～1/13)期間の土曜・日曜・祝日及び冬休みの第4・6回目

| 番組タイトル           | 放映期間                       | 放映回数 | 観覧者数   |
|------------------|----------------------------|------|--------|
| 南天星座めぐり          | 平成25年 4月 1日(月)～ 4月 29日(月)  | 51回  | 1,109人 |
| 太陽と惑星たち ～太陽系ツアー～ | 平成25年 5月 1日(水)～ 6月 30日(日)  | 92回  | 3,621人 |
| ブラックホール          | 平成25年 7月 2日(火)～ 8月 31日(土)  | 107回 | 6,221人 |
| 宇宙ステーションによこそ     | 平成25年 9月 1日(日)～10月 31日(木)  | 86回  | 2,581人 |
| 星が生まれる           | 平成25年 11月 1日(金)～12月 30日(月) | 94回  | 2,128人 |
| 第2の地球?           | 平成26年 1月 2日(木)～ 2月 28日(金)  | 90回  | 1,570人 |
| 魅惑の火星            | 平成26年 3月 1日(土)～ 3月 31日(月)  | 57回  | 1,189人 |

観覧者総数 18,419人



南天星座めぐり



太陽と惑星たち



ブラックホール



宇宙ステーションによこそ



星が生まれる



第2の地球?



魅惑の火星

### キッズアワー

季節の星座紹介と星座神話・映像演出を組み合わせ、子どもと大人が一緒に楽しめるように、易しい解説を加えたプラネタリアム番組を放映した。

放映時間:土曜・日曜・祝日、春休み・ゴールデンウィーク期間の第1・3回目、夏休み期間の第2回目、12/1~1/13の土曜・日曜・祝日及び冬休み期間の第1回目

| 番組タイトル      | 放映期間                          | 放映回数 | 観覧者数   |
|-------------|-------------------------------|------|--------|
| おたんじょうびのせいざ | 平成25年 4月 1日(月)~ 5月 26日(日)     | 48回  | 2,036人 |
| たなばたの星ものがたり | 平成25年 6月 1日(土)~ 8月 13日(火)     | 53回  | 2,793人 |
| かぐやひめのおはなし  | 平成25年 8月 14日(水)~ 9月 29日(日)    | 36回  | 1,503人 |
| あきの星さがし     | 平成25年 10月 5日(土)~ 11月 30日(土)   | 38回  | 1,506人 |
| 宇宙旅行にしゅっぱつ! | 平成25年 12月 1日(日)~平成26年1月26日(日) | 32回  | 1,144人 |
| ふゆの星めぐり     | 平成26年 2月 1日(土)~ 3月 31日(月)     | 50回  | 1,413人 |

観覧者総数 10,395人



おたんじょうびのせいざ



たなばたの星ものがたり



かぐやひめのおはなし



あぎの星さがし



宇宙旅行にしゅっぱつ！



ふゆの星めぐり

### ドーム映像番組

全天ビデオ映像に星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を夏休み期間に1日3回上映した。夏休みドーム映像番組は先行試写会など、広く市民県民に番組を周知していただけるよう、番組の話題作りを行ったほか、モルティ事業部と連携し商業施設での「六太と日々人の宇宙広場」の展示や飲食店での関連グッズのプレゼント、スタンプラリーなどの企画を行った。また、冬期間にも全天ビデオ映像に星空紹介を加えたドーム映像番組の上映及びモルティ事業部とのスタンプラリーなどの企画を実施した。

#### <夏休みドーム映像番組「宇宙兄弟 一点のひかり」>

上映期間：夏休み期間(7/20～8/25)の  
第1・3・5回目

#### <冬のドーム映像番組

#### 「恐竜探検隊 パンゲアのひみつ」>

上映期間：12月～1月13日の土曜・日曜・祝日  
及び冬休み期間(12/21～1/7)の  
第1・4回目



宇宙兄弟



恐竜探検隊パンゲアのひみつ

| 番組タイトル            | 投映期間                              | 投映回数 | 観覧者数    |
|-------------------|-----------------------------------|------|---------|
| 宇宙兄弟 一点のひかり       | 平成25年 7月20日(土)～8月25日(日)           | 111回 | 10,114人 |
| 恐竜探検隊<br>パンゲアのひみつ | 平成25年 12月 1日(日)<br>～平成26年1月13日(月) | 41回  | 3,581人  |

観覧者総数 13,695人

#### <夏休みドーム映像番組特別試写会>

夏休みドーム映像番組の先行試写会を行った。試写会終了後は、モルティ1階で「六太と日々人の宇宙広場オープニングセレモニー」を行った。

「夏休みドーム映像番組 特別試写会」

☆開催日時 平成25年 7月14日(日)11時30分～12時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 一般参加者240人

☆内 容 主催者あいさつ、松本零士名誉館長あいさつ、番組鑑賞、六太と日々人の宇宙広場テープカットなど



松本零士名誉館長あいさつ



六太と日々人の宇宙広場オープニングセレモニー

イブニングアワー

一般に天文に関する興味関心の高い時季に、その話題を大人向けに紹介するほか、夜間の利用が増加すると見込まれる夏休み期間に主に家族を対象に宇宙劇場を夜間開館し、通常の宇宙劇場番組投映の幅を広げたニーズに応えるプラネタリウム番組を投映した。

| 番組タイトル                                  | 投映日時  | 投映回数 | 観覧者数 |
|---|---|------|------|
| アラスカからオーロラ生中継!                          | 平成25年 4月 6日(土)<br>18時 30分～ 19時 30分<br>19時 40分～ 20時 40分                            | 2回   | 120人 |
| 星空ライブ60<br>～春の星空編～                      | 平成25年 5月 4日(土)<br>18時 30分～ 19時 30分  | 1回   | 34人  |
| 七夕の夜<br>～星の河をめぐる物語～                     | 平成25年 7月 7日(日)<br>18時 30分～ 19時 30分  | 1回   | 102人 |
| 星空ライブ60<br>～夏の星空編～                      | 平成25年 7月20日(土)<br>18時 30分～ 19時 30分  | 1回   | 45人  |
| 星祭りの夜                                   | 平成25年 8月 3日(土)<br>18時 30分～ 19時<br>19時 ～ 19時 30分<br>平成25年 8月 4日(日)<br>18時 30分～ 19時 | 3回   | 136人 |
| お絵かきプラネタリウム<br>～マイ星座を作ってみよう～            | 平成25年 8月10日(土)・11日(日)<br>18時 30分～ 19時 30分   | 2回   | 14人  |
| 伝統的七夕                                   | 平成25年 8月12日(月)・13日(火)<br>18時 30分～ 19時 30分   | 2回   | 31人  |
| 星空の記念写真                                 | 平成25年 8月14日(水)・15日(木)<br>18時 30分～ 19時 30分   | 2回   | 30人  |
| 十五夜の世界                                  | 平成25年 9月14日(土)<br>18時 30分～ 19時 30分  | 1回   | 75人  |
| 星空ライブ60<br>～秋の星空編～                      | 平成25年10月12日(土)<br>18時 30分～ 19時 30分  | 1回   | 29人  |
| Planetarium 90 years<br>～プラネタリウム誕生90周年～ | 平成25年10月19日(土)<br>18時 30分～ 19時 30分  | 1回   | 25人  |

|                    |  |     |        |
|--------------------|--|-----|--------|
| やってくる!アイソン彗星       | 平成25年11月の毎週土曜日<br>18時30分～19時30分        | 5回  | 206人   |
| 聖夜の星物語             | 平成25年12月24日(火)・25日(水)<br>18時30分～19時30分 | 2回  | 202人   |
| 星空ライブ60<br>～冬の星空編～ | 平成26年 1月11日(土)<br>18時30分～19時30分        | 1回  | 56人    |
| アラスカからオーロラ生中継!     | 平成26年2～3月の毎週土曜・日曜・祝日<br>18時30分～19時30分  | 37回 | 1,124人 |

観覧者総数 2,229人

**学習番組** ※番組の選択は先着順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択して観覧できるプラネタリウム番組を投映した。

投映期間:学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

| 番組タイトル(対象)         | 投映期間 | 投映回数 | 観覧者数   |
|--------------------|------|------|--------|
| 星座をみつけよう(小学校低学年以上) | 通 年  | 14回  | 970人   |
| 日なたと日かげ(小学校中学年以上)  |      | 12回  | 944人   |
| 月と星の動き(小学校中学年以上)   |      | 49回  | 4,233人 |
| 月と太陽(小学校高学年以上)     |      | 4回   | 249人   |
| 地球と宇宙(中学生向け)       |      | 6回   | 427人   |
| 宇宙のお話(中学生以上)       |      | 1回   | 94人    |

観覧者総数 6,917人

**幼児番組** ※幼児週間に集中して投映したほか幼児週間以外には学習番組枠で希望により投映した。

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えて、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を投映した。

投映期間:学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

| 番組タイトル          | 投映期間               | 投映回数 | 観覧者数   |
|-----------------|--------------------|------|--------|
| ほしのどうぶつえん       | 平成25年 4月～5月        | 3回   | 205人   |
| たなばたのおほしさま      | 平成25年 6月～7月中旬      | 23回  | 2,799人 |
| おつきみとかぐやひめのおはなし | 平成25年 8月下旬～9月      | 5回   | 298人   |
| うちゅうりょこうにでかけよう  | 平成25年 10月～11月      | 17回  | 1,301人 |
| せいざたちのだいぼうけん    | 平成25年 12月～平成26年 3月 | 17回  | 1,006人 |

観覧者総数 4,978人

## (2) 音楽コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートなどを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供した。

### 星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽(CD)を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を放映した。

放映時間:平日(祝日・学校長期休業期間等を除く。)の第4回目

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間の第5回目

(夏休み、12/1～1/13の土曜・日曜・祝日及び冬休み期間を除く。)

毎週金曜日及び12/1～1/13の土曜・日曜・祝日及び冬休み期間の第6回目

| 月   | 音楽テーマ                         | 放映回数 | 観覧者数   |
|-----|-------------------------------|------|--------|
| 4月  | さくらソング ～はるウタ～                 | 60回  | 1,169人 |
| 5月  |                               |      |        |
| 6月  | Zodiac ～12星座めぐり～              | 49回  | 1,067人 |
| 7月  |                               |      |        |
| 8月  | マウイの星空 ～ハワイアンミュージック～          | 38回  | 996人   |
| 9月  |                               |      |        |
| 10月 | スターライトクラシック vol.2 ～月夜のセレナーデ～  | 62回  | 1,126人 |
| 11月 |                               |      |        |
| 12月 | Star's Life ～プラネで聴きたいバラードソング～ | 56回  | 1,521人 |
| 1月  |                               |      |        |
| 2月  | 旅だちの歌 ～オーロラファンタジー～            | 57回  | 1,241人 |
| 3月  |                               |      |        |

観覧者総数 7,120人

### 宇宙劇場コンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを開催した。

#### <セタコンサート 「琵琶と星のファンタジー」>

☆開催日 平成25年7月6日(土)

☆開催時間 15時～16時、17時～18時

☆演奏 熊田かほりさん

☆演奏回数 2回

☆観覧者数 326人(1回目219人、2回目107人)

※6月1日(土)から観覧券の前売販売を開始

#### <クリスマスコンサート「Juni.星空ライブinスペースパーク」>

☆開催日 平成25年12月21日(土)

☆開催時間 15時30分～16時30分、18時30分～19時30分

☆演奏 Juni.(ユニー)さん

- ☆演奏回数 2回
- ☆観覧者数 261人(1回目186人、2回目75人)
- ※11月16日(土)から観覧券の前売販売を開始

<バレンタインファミリーコンサート「キラキラ☆ジュリエット」>

- ☆開催日 平成26年2月8日(土)
- ☆開催時間 13時～14時、16時～17時
- ☆出演者 Juliet (Maikoさん、Yumiさん、Hamiさん)
- ☆出演回数 2回
- ☆観覧者数 453人(1回目225人、2回目228人)
- ※1月11日(土)から観覧券の前売販売を開始
- ※モルティとのコラボレーションにより実施

観覧者総数 1,040人



七夕コンサートの様子



クリスマスコンサートの様子



バレンタインコンサートの様子

(3) 鑑賞型企画展

ハワイエ企画展

宇宙劇場ハワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催した。

| テ ー マ                      | 展 示 期 間                  |
|----------------------------|--------------------------|
| 色とりどりの星                    | 平成25年 4月1日(月)～ 5月 31日(金) |
| スペースリング                    | 平成25年 6月1日(土)～ 8月 25日(日) |
| 都会の星                       | 平成25年 9月7日(土)～10月 27日(日) |
| プラネタリウムの歴史～90年の歩み～         | 平成25年11月1日(金)～12月 30日(月) |
| 星団の世界                      | 平成26年 1月2日(木)～ 2月 28日(金) |
| 第3回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト表彰作品展 | 平成26年 3月8日(土)～ 5月 25日(日) |

学校向け巡回展

ハワイエ企画展で使用したパネルやコンピュータグラフィックス展の作品を、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議やコンピュータグラフィックスの楽しさに身近に触れることができる巡回展を行った。

- ☆開催期間 平成25年4月～平成26年2月(学校休業期間を除く。)
- ☆貸出回数 52回

## 2 市民参加型事業

### (1) 科学普及

#### サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を展示ゾーン内のびっくり実験ラボにおいて実施した。2ヶ月ごとにメニューを更新して実施した。(約20分間)

☆開催時間 平日 10時30分～、13時～

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10時30分～、13時～、16時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 30人程度

| 開催期間                       | メニュー               | 開催回数 | 参加者数   | 内 容   |
|----------------------------|--------------------|------|--------|---|
| 平成25年<br>4月                | ピタッと磁石<br>で大実験     | 44回  | 463人   | 様々な「磁石」を使った実験を行った。磁石にくっつくものとくっつかないものをクイズ形式で行った。また、磁界観察器を使って磁力線を見せる実験や、ガウス加速器を使って「鉄球」を飛ばす実験などを行った。                 |
| 平成25年<br>5～6月              | 音のひみつを<br>探ろう!     | 82回  | 997人   | 色々な楽器を鳴らし、見慣れない楽器も紹介した。太鼓の上に小さな発泡球を置いて叩き、音の正体である振動を見る実験などを行った。  |
| 平成25年<br>7～8月              | 台所で<br>科学実験        | 112回 | 1,586人 | 電子レンジへ蛍光灯を入れてスイッチを入れると光る実験や紫芋粉末を水に溶かした溶液を使い、台所にある色々な液体の酸性・中性・アルカリ性を調べる実験などを行った。                                   |
| 平成25年<br>9～10月             | 風船で<br>大実験         | 93回  | 1,352人 | 柑橘系果物の皮に含まれるリモネンという成分がゴム風船を溶かす性質を利用し、時間差で割れる風船を飛ばしたり、風船を伸ばすと温かくなり、伸ばした後縮めると冷たくなる性質を、実際に風船を使い来館者に体験してもらおう実験などを行った。 |
| 平成25年<br>11～12月            | 燃える科学              | 91回  | 1,067人 | 物が燃えるには三つの要素が必要なことを紹介した。また、燃える物によって独自の色を放つ炎色反応の実験などを行った。  |
| 平成26年<br>1～2月              | 静電気で<br>大実験        | 73回  | 705人   | 静電気が起きる仕組みを身近な物を使って紹介した。また、ビニールひもを細かく裂いたものやシャボン玉を静電気力で浮かべたり、バンデグラフで静電気を体感する実験などを行った。                              |
| 平成26年3月                    | 空気ので<br>大実験        | 57回  | 718人   | 大気圧を利用して、アルミ缶をつぶす実験や、ボーリングの球を持ち上げる実験などを行った。   |
| 平成25年<br>5月<br>(ゴールデンウィーク) | びっくり<br>超低温の<br>世界 | 4回   | 140人   | 液体窒素の中に花やボールなどを入れて凍らせる実験や、液体窒素が気体になるとどのぐらい体積が増えるかなどの実験を行った。   |
| 平成25年<br>7・8月<br>(夏休み)     |                    | 37回  | 778人   |   |

参加者総数 7,806人



音のひみつを探ろう！の様子



台所で科学実験の様子



風船で大実験の様子

### サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを、1ヶ月ごとにメニューを替えて開催した。(約20分間)

☆開催日時 開館日の11時30分～、14時30分～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 30人程度

| 開催期間                        | メニュー                      | 開催回数 | 参加者数   | 内 容   |
|-----------------------------|---------------------------|------|--------|---|
| 平成25年<br>4月                 | 伸びたり縮んだり!<br>ゴムのひみつ       | 36回  | 560人   | ゴムの木からゴムの原料を採取する実演やゴムの性質についての実験を行い、ゴム動力を利用したコップの遊具を製作した。          |
| 平成25年<br>5月                 | 流れる電気の<br>ひみつ             | 31回  | 486人   | 電気についていろいろな装置で実験し、電気抵抗を利用して発泡スチロールを切断できる道具を製作した。                  |
| 平成25年<br>6月                 | もくもく雲の<br>ひみつ             | 35回  | 582人   | 雲について、空気中の水分を見る実験や気球の実験、雲をつくる実験を行い、簡易湿度計を製作した。                    |
| 平成25年<br>7・8月               | 暑さにまけるな!<br>太陽のひみつ        | 102回 | 2,321人 | 太陽についてその成分である水素を使った実験や、ソーラーパネルを使った発電の実験を行い、うちわ型の日時計を製作した。         |
| 平成25年<br>9月                 | 宇宙実験に挑戦!                  | 39回  | 561人   | 国際宇宙ステーションなどで行われた実験を行い、映像で見た宇宙での結果との違いを体験し、無重力の様子を観察できる実験道具を製作した。 |
| 平成25年<br>10月                | 重い物も<br>かるがる?!?<br>てこのひみつ | 31回  | 325人   | 棒と支点、錘を使って「てこ」の仕組みを実験し、てこの原理を利用してロケットを飛ばす工作を製作した。                 |
| 平成25年<br>11月                | 地球は生きている<br>岩石のひみつ        | 35回  | 422人   | 地球上の3種類の岩石の観察や、ブラックライトなどを用いて鉱物の特徴について実験し、岩塩を使ったアクセサリーを製作した。       |
| 平成25年<br>12月<br>平成26年<br>1月 | なぜ回る?<br>コマのひみつ           | 61回  | 879人   | コマが回るために必要な力や性質について実験し、回すと変わった見え方をするコマを製作した。                      |
| 平成26年<br>2月                 | 磁石の不思議                    | 27回  | 215人   | 目に見えない磁力を間接的に見る実験やガウス加速の実験を行い、方位磁石を製作した。                          |
| 平成26年<br>3月                 | バチツときたぜ<br>静電気            | 40回  | 578人   | 静電気の引き合う力やしりぞけ合う力を体験し、それを応用した静電気モーターの実験や魚釣りの工作を行った。               |

参加者総数 6,929人



もくもく雲のひみつの様子



なぜ回る？コマのひみつの様子



磁石の不思議の様子

### ロボットショー

ロボット犬「アイボ」と二足歩行ロボット「ロボビー」によるダンスやジャンケンなどの様々なパフォーマンスショーを開催し、ロボット技術への興味関心を高めた。

- ☆開催日時 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間  
12時30分～、15時30分～
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆開催回数 296回
- ☆参加者数 4,676人



ロボットショーの様子

### 展示解説

#### <たんけんシート>

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置した。

- ☆開催日時 随時
- ☆開催場所 展示ゾーン
- ☆対象 展示ゾーン入館者

### デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催した。(約50分間)

- ☆開催日時 土曜日 13時30分～(イベント開催日は除く。)
- ☆開催場所 パソコン工房
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 16人

| 開催期間        | メニュー      | 開催回数 | 参加者数 | 内容                                   |
|-------------|-----------|------|------|--------------------------------------|
| 平成25年<br>4月 | 名前シール作り   | 4回   | 70人  | 自分の顔写真を使用して、名前のシールを製作した。             |
| 平成25年<br>5月 | クリアファイル作り | 3回   | 53人  | 自分の顔写真とイラストを使用して、A4サイズのクリアファイルを製作した。 |

|               |              |    |     |  |
|---------------|--------------|----|-----|--|
| 平成25年<br>6月   | しかけカード作り     | 5回 | 57人 | カードの端を引くと、白黒のイラストに色が付くように見えるカードを製作した。  |
| 平成25年<br>7・8月 | 風りん作り        | 3回 | 49人 | リング二つを使用した、オリジナルの風鈴を製作した。              |
| 平成25年<br>9月   | アートバルーン作り    | 4回 | 46人 | 自分の顔写真とイラストを印刷した風船を製作した。               |
| 平成25年<br>10月  | トートバック作り     | 3回 | 26人 | 自分の顔写真やイラストが入ったバックを製作した。               |
| 平成25年<br>11月  | シール作り        | 4回 | 27人 | オリジナルのフレームに顔写真を入れて、シールを製作した。           |
| 平成25年<br>12月  | カレンダー作り      | 3回 | 50人 | KAGAYAさんの12星座のイラストを使用して、置き型カレンダーを製作した。 |
| 平成26年<br>1月   | 下じき作り        | 3回 | 38人 | 顔写真とイラストを使用して、オリジナルの下じきを製作した。          |
| 平成26年<br>2月   | プラバンキーホルダー作り | 3回 | 34人 | 自分の顔写真と名前でキーホルダーを製作した。                 |
| 平成26年<br>3月   | 名刺作り         | 5回 | 51人 | 顔写真やイラストが入った名刺を製作した。                   |

参加者総数 501人

#### サイエンス広場

展示ゾーンへの入館者を対象に、身近な材料を使用して科学工作教室を開催した。(約40分間)

☆開催日時 日曜・祝日 13時30分～(イベント開催日は除く。)

☆開催場所 実験工房

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30人

| 開催期間          | メニュー     | 開催回数 | 参加者数 | 内 容                                      |
|---------------|----------|------|------|--|
| 平成25年<br>4月   | のぞいて遊ぼう! | 5回   | 72人  | プラコップの表面に描かれた絵を、鏡を使って覗く不思議な万華鏡を製作した。     |
| 平成25年<br>5月   | 風で遊ぼう!   | 3回   | 30人  | 前から風を当て、風上に向かって進むこいのぼりを製作した              |
| 平成25年<br>6月   | 湿度で遊ぼう   | 5回   | 70人  | 湿度で色が変わる薬品をしみ込ませた紙を使って、アジサイのカードを製作した。    |
| 平成25年<br>7・8月 | 水で遊ぼう    | 3回   | 101人 | ショウノウを使い、水の表面張力を利用して進む船を製作した。            |
| 平成25年<br>9月   | 音で遊ぼう    | 6回   | 108人 | 紙コップやストローを使い、ガーガーと鳴き声がる、ガチョウ型の遊具を製作した。   |
| 平成25年<br>10月  | 飛ばして遊ぼう  | 3回   | 53人  | 紙でプロペラの羽を作り、プラスチックコップと割箸でその羽を飛ばす遊具を製作した。 |
| 平成25年<br>11月  | ゴムで遊ぼう   | 6回   | 94人  | 輪ゴムの元の姿に戻る力をつかって、2足歩行するリス型の遊具を製作した。      |
| 平成25年<br>12月  | あたためて遊ぼう | 5回   | 100人 | クリスマスツリーをかたどったカイロを製作した。                  |

|             |        |    |     |  |
|-------------|--------|----|-----|--|
| 平成26年<br>1月 | 回して遊ぼう | 5回 | 48人 | 紙コップを使用して、回すとホーと音が鳴る「なりごま」を製作した。             |
| 平成26年<br>2月 | 模様で遊ぼう | 4回 | 43人 | 物質を精製・分離するクロマトグラフィーの原理を利用し、しおりを製作した。         |
| 平成26年<br>3月 | 磁石で遊ぼう | 5回 | 84人 | 磁石の引き合う、退け合う性質を利用して、ニンジンに寄ったり、逃げる馬型の遊具を製作した。 |

参加者総数 803人

### わくわくカウンター

科学の幅広い分野を、楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを開催した。

☆開催日時 不定期(土曜・日曜・祝日及び小中学校の長期休業期間等に開催)

☆開催場所 ワークショップカウンター

☆対 象 展示ゾーン入館者

| メニュー     | 内 容                                       |
|----------|---|
| タングラム    | 7枚のピースを使って、さまざまな形をつくることのできるパズルを製作した。      |
| プラアクセサリー | PET樹脂に熱を加えると変形する性質を利用してオリジナルのアクセサリーを製作した。 |
| こいのぼり    | 矢車が付いたこいのぼりのペーパークラフトを製作した。                |
| ビー玉顕微鏡   | タピオカストローとビー玉を使って簡易的な顕微鏡を製作した。             |
| バランストンボ  | 変わった位置に重心をもつトンボのペーパークラフトを製作した。            |
| ぶっとびロケット | スーパーボールの弾性を利用して飛ばすロケットを製作した。              |
| くるくるツリー  | 好みにデコレーションした回転式ツリーを製作した。                  |
| トコトコ馬    | 斜面に置くと、受動歩行の原理でトコトコと歩き出す馬を製作した。           |
| くるりんパズル  | めくっていくと3種の絵が繰り返し現れるパズルを製作した。              |

### サイエンス教室

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」や楽しい科学実験を見ることが出来る「サイエンスショー」を開催した。

☆開催日時 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対 象 幼稚園・小学校・中学校団体

☆参加者数 3,963人

☆内 容 ワークショップ(ぐにゅっとスライム、プラアクセサリー、くるくるリング、分光万華鏡等40種類)

サイエンスショー(パワフル空気の力、超低温の世界)

## 鉄道ジオラマ

線路の幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介した。

### <鉄道ジオラマショー>

- ☆開催時間 開館日の11時～、15時～、17時～  
(約20分間)
- ☆見学者数 9,592人

### <簡易シミュレーター>

- ☆開催時間 開館日の10時～17時(ショー開催時間以外)

### <運転シミュレーター>

- ☆開催時間 開館日の10時～17時
- ☆料 金 200円(約5分間)
- ☆運転者数 3,849人



鉄道ジオラマショーの様子

### <ウォールミュージアム>

- ☆開催時間 開館日の10時～17時30分

### <たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置した。

- ☆開催時間 開館日の10時～17時

## サイエンスフェスティバル

福島県立福島高等学校・郡山女子大学附属高等学校・日本大学東北高等学校の先生や生徒、科学館支援グループの先生、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム、スペースパークボランティアの会などの皆様に協力をいただき、展示ゾーンの入館者を対象に、科学の面白実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催した。

- ☆開催日時 ゴールデンウィーク:平成25年5月3日(金・祝)～6日(月・休)10時～17時  
夏休み期間パートI:平成25年7月20日(土)・21日(日)10時～17時  
夏休み期間パートII:平成25年8月10日(土)～15日(木)10時～17時

- ☆開催場所 展示ゾーン

- ☆対 象 展示ゾーン入館者

- ☆参加者数 ゴールデンウィーク:2,210人  
夏休み:4,194人

- ☆参加団体 福島県立福島高等学校、郡山女子大学附属高等学校、日本大学東北高等学校、ムシテックワールド、科学館支援グループ(福島大学 岡田先生、郡山第三中学校 佐野先生と生徒、福島大学附属中学校 園部先生、永盛小学校 赤間先生)、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム(大越先生)、折紙造形・四季折々、新福島芸能倶楽部 武田先生、なかやま理化製作所、スペースパークボランティアの会

☆内 容 <ゴールデンウィーク>

サイエンスフラワー、ミラクルフルーツ実験！、サムい世界(液体窒素の実験)、にせものスイーツをつくろう！、電気をつくろうホットケーキ、こいのぼり、スライム、ウキウキ方位じしゃくなど

<夏休み>

宇宙を折ってみよう♪、まゆキャラを作ろう！、ドライアイスで実験！、日焼け止めクリームで布に印刷、バルーンアートを楽しもう！、錬金術に挑戦！ 金銀銅メダルをつくろう、スーパーボールを作ろう、万能風車をつくろう！、ブービー笛、お天気紹介コーナー、自由研究紹介コーナー、科学グッズ販売など



福島県立福島高等学校の様子



日本大学東北高等学校の様子



郡山女子大学附属高等学校の様子

**わくわくスペースパークの夏**

夏休み期間は、「わくわくスペースパークの夏」と題し、科学を楽しむことができる工作コーナーやサイエンスフェスティバルを実施した。

☆開催日時 平成25年7月22日(月)～8月25日(日) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆内 容 ぶっとびロケット、パタパタマグネットなど12種類の工作メニューを、数日ごとに替えて行った。

**理科大好き！自由研究講座**

理科作品展などの自由研究の審査に長年取り組んでいる小学校の先生が、自由研究の進め方やまとめ方などのポイントを実演や実験をしながら実施した。

☆開催日時 平成25年7月27日(土)

①10時30分～12時 小学校低学年向け

②14時～15時30分 小学校中・高学年向け

☆開催場所 多目的研修室

☆講 師 低学年：菅家 倫子先生(富田東小学校)、山口 弘先生(小泉小学校)

中・高学年：八木田 浩先生(小原田小学校)、橋本 制一先生(芳賀小学校)

☆参加者数 71人



低学年向けの様子



中・高学年向けの様子

## NECガリレオクラブ2013移動教室 IN こおりやま

NECの協力により創造力豊かな青少年の育成を目的としたNECの社会貢献プログラムを実施した。NECで開発されたコミュニケーションロボットPaPeRoのデモンストレーションやLEDやモーターを使って工作も行った。

☆開催日時 平成25年8月4日(日)

①10時30分～12時

LEDを使ったイルミネーションの創作

②13時30分～15時30分

紙コップを使ったダンスロボットの創作

☆開催場所 多目的研修室

☆講師 稲見 忠昭さん(NEC元社員)

☆参加者数 53人



開催の様子

## (2) 講演会等

### 星の講演会

天文現象や宇宙開発など様々なテーマについて、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門講師を招いて開催した。

#### 第24回星の講演会

##### <よくわかるブラックホールのひみつ>

☆講師 高橋 真聡氏(愛知教育大学教授)

☆開催日時 平成25年8月31日(土)16時～17時15分

☆場所 宇宙劇場

☆参加者数 125人

☆内容 宇宙劇場で全天映像を交えて、ブラックホールとはどういう天体か、ブラックホールの近くではどのようなことが起こるのかわかりやすく紹介していただいた。



開催の様子



講師の高橋氏への質問の様子

#### 第25回星の講演会

##### <スーパーコンピュータで地球を作る実験>

☆講師 小久保 英一郎氏(国立天文台 天文シミュレーションプロジェクト長)

☆開催日時 平成26年2月1日(土)16時～17時15分

☆場所 宇宙劇場

☆参加者数 67人

☆内容 スーパーコンピュータを使った太陽系惑星の作り方や太陽系外の惑星について、プラネタリウムの映像を交えて紹介していただいた。



開催の様子



講師の小久保氏への質問の様子

～天文学者との語らい～ 天文学者の先生に聞いてみよう！

宮城県仙台市で日本天文学会秋季年会が開催されるのにあわせ、当館にも天文学者を招いての講座やワークショップを開催した。

<講座「親子で楽しむ宇宙図教室」>

- ☆講師 高梨 直紘氏（東京大学特任助教）、小阪 淳氏（美術家）
- ☆開催日時 平成25年9月8日(日)13時～14時
- ☆場所 多目的研修室
- ☆参加者数 22人
- ☆内容 宇宙図2013をもとに、親子での楽しみ方や、宇宙の歴史を紹介いただいた。

<講座「大人のための宇宙図ゼミ」>

- ☆講師 高梨 直紘氏（東京大学特任助教）、小阪 淳氏（美術家）
- ☆開催日時 平成25年9月8日(日)15時～17時
- ☆場所 多目的研修室
- ☆参加者数 29人
- ☆内容 宇宙図2013の見かたや宇宙の歴史を紹介いただいた。

<ワークショップ「うちゅうちぎり絵」を作ってみよう」>

- ☆講師 高橋 淳氏（茨城県立水海道第一高等学校教諭／天文教育普及研究会）  
佐藤 サト氏、酒井 蓉子氏（スペースパークボランティアの会）
- ☆開催日時 平成25年9月14日(土) ①10時30分～12時 ②14時～15時30分
- ☆場所 多目的研修室
- ☆参加者数 16人
- ☆内容 絵本「ホシオくん天文台へゆく」の読み聞かせと、天体写真を題材とした「うちゅうちぎり絵」を作り、宇宙の姿への理解を親子で深めていただいた。

<講座「ここはどこ？ パワーズオブテンで知る宇宙の広がり」>

- ☆講師 沢 武文氏（愛知教育大学特任教授）
- ☆開催日時 平成25年9月14日(土)13時～14時30分
- ☆場所 多目的研修室
- ☆参加者数 17人
- ☆内容 パソコンソフト「パワーズオブテン」をもとに、郡山を出発して、見る世界を10倍ずつ広げたときの宇宙の広がりを紹介いただいた。

<講座「ブラックホールを見る？ ～これが見えたらノーベル賞～」>

☆講師 嶺重 慎氏（京都大学教授）

☆開催日時 平成25年9月14日(土)16時30分～18時

☆場所 多目的研修室

☆参加者数 23人

☆内容 ブラックホールについて、ご自身の研究の歩みによる進展から、最新の理論までをわかりやすく紹介いただいた。

<アストロトーク（ミニトークと質問コーナー）>

☆講師 沢 武文氏（愛知教育大学特任教授）、嶺重 慎氏（京都大学教授）

☆開催日時 平成25年9月14日(土)15時～16時

☆場所 展示ゾーン

☆参加者数 12人

☆内容 展示ゾーンで天文学者が来館者の質問に気軽に答え、またトピックを紹介するコーナーを設けた。



「親子で楽しむ宇宙図教室」の様子



「大人のための宇宙図ゼミ」の様子



「“うちゅうちぎり絵”を作ってみよう」の様子



「ここはどこ？ パワーズオブテンで知る宇宙の広がり」の様子



「ブラックホールを見る？  
～これが見えたらノーベル賞～」の様子



アストロトークの様子

## 天体観望会

### <パークス天文台遠隔操作による電波観測実習>

☆開催日時 平成25年5月25日(土)、26日(日)12時30分～19時00分

☆場所 多目的研修室・パソコン工房

☆講師 Robert Hollow氏 (パークス天文台)

Ryan Shannon氏 (パークス天文台)

亀谷 収氏 (国立天文台水沢観測所)

三上 諒氏 (東京大学宇宙線研究所博士課程1年)

☆参加者数 42人

☆内容 オーストラリアにあるパークス天文台が有する64m電波望遠鏡を遠隔操作し、電波観測実習を行った。



講師のRobert Hollowさん(右)と  
Ryan Shannonさん(左)



観測中の様子

### <アイソン彗星観望会>

アイソン彗星の接近に伴い、アイソン彗星観望会を開催した。

☆開催日時 平成25年11月23日(土)4時30分～6時

☆開催場所 郡山市総合地方卸売市場駐車場

☆参加者数 約80人

☆内容 天体望遠鏡や双眼鏡を用いて、アイソン彗星及び木星や水星など見えている天体の紹介と観察を行った。全館企画「アイソンスペシャル!」のキャンペーンとして、オリジナル彗星カードをプレゼントした。



アイソン彗星観望会の様子

### <アイソン合宿>

自然科学系クラブ所属の高校生、スペースパークボランティアの会天文ボランティア、星のソムリエを対象に合宿形式でアイソン彗星を観察する観望会を開催した。アイソン彗星の観察及び冬の夜空の天体観察などを行った。

☆開催日時 平成25年11月22日(金)18時～23日(土)9時

☆開催場所 郡山市青少年会館

☆参加者数 64人

### 駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催した。

☆開催場所 郡山駅西口駅前中央広場

☆対 象 一般(当日自由参加)

| 開催日時                         | 観望内容              | 参加者数     |
|------------------------------|-------------------|----------|
| 平成25年 4月20日(土) 19時~20時       | 月など               | 悪天候のため中止 |
| 平成25年 5月18日(土) 19時30分~20時30分 | 月・土星など            | 約120人    |
| 平成25年 6月15日(土) 19時30分~20時30分 | 月・土星など            | 悪天候のため中止 |
| 平成25年 7月20日(土) 19時30分~20時30分 | 月・土星など            | 約120人    |
| 平成25年 8月 4日(日) 19時30分~20時30分 | 国際宇宙ステーション(ISS)など | 悪天候のため中止 |
| 平成25年 8月17日(土) 19時~20時       | 月など               | 約120人    |
| 平成25年 9月14日(土) 19時~20時       | 月など               | 約80人     |
| 平成25年10月12日(土) 18時~19時       | 月など               | 約70人     |
| 平成25年11月 9日(土) 18時~19時       | 月など               | 悪天候のため中止 |
| 平成26年 3月15日(土) 19時~20時       | 月・木星など            | 約150人    |

参加者総数 660人



駅前観望会の様子



駅前観望会の様子

### 高校天文部支援事業

市内各高校の天文クラブ等との交流を深め、天文に関する知識や技術面の向上を目指し、クラブ活動を支援した。

☆参加校 福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校、日本大学東北高等学校、福島県立郡山商業高等学校、福島県立福島高等学校、福島県立磐城高等学校

| 開催日           | 開催場所         | 内 容                       | 参加者数 |
|---------------|--------------|---------------------------|------|
| 平成25年6月18日(火) | 多目的研修室・宇宙劇場  | 今夜の星空、ペルセウス座流星群、プラネタリウムの話 | 13人  |
| 平成25年7月9日(火)  | 多目的研修室・宇宙劇場  | 星景写真撮影実習                  | 13人  |
| 平成25年8月27日(火) | 多目的研修室・展望ロビー | ペルセウス座流星群観測報告会、天体観測実習     | 13人  |
| 平成25年9月10日(火) | 多目的研修室       | 望遠鏡組み立て実習                 | 11人  |

|                |           |           |    |
|----------------|-----------|-----------|----|
| 平成25年10月 8日(火) | 宇宙劇場      | 星空の紹介     | 4人 |
| 平成25年11月12日(火) | 郡山駅西口駅前広場 | 月のスケッチ    | 8人 |
| 平成25年12月10日(火) | 郡山駅西口駅前広場 | デジカメで月を撮影 | 2人 |

参加者総数 64人

### 科学ゼミナール

県内の文化施設、県内外の大学等と連携し共同でワークショップを開催した。

#### <福島大学との連携事業 おもしろ科学びっくり箱>

##### 第1回「泥と水のふしぎなサイエンス—どろだんごづくり」

☆講師 新井 浩氏(福島大学教授)

☆開催日時 平成25年7月7日(日)13時～16時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学校1年生～一般

☆参加者数 17人

☆内容 さまざまな種類の土を観察したり、土と水が混ざるとミクロの世界ではどういったことが起きているのかを学び、土と水から作ったどろだんごをこね、さらにそれを磨くことで、光るどろだんごづくりを行った。



「泥と水のふしぎなサイエンス—どろだんごづくり」の様子

##### 第2回「映画のつくりかた」

☆講師 久我 和巳氏(福島大学教授)

☆開催日時 平成25年11月16日(土)13時～16時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学校1年生～中学3年生

☆参加者数 13人

☆内容 通常、観客としてしか関わらない映画について、その制作ではどのような技術が使われているのか、特殊効果の体験や効果音づくり、さらに参加者出演の短編映像の制作を行った。



「映画のつくりかた」の様子

#### <郡山市希望ヶ丘図書館との連携事業 放課後の科学教室>

平日の放課後に図書館を利用する児童を対象に科学の実験や工作の体験と科学に関する本を紹介する教室を開催した。

☆開催場所 郡山市希望ヶ丘図書館児童室

☆対象 小学生、幼児とその保護者

##### 「ぐにゅっとスライム」

☆開催日時 平成26年3月5日(水)14時～17時

☆参加者数 17人

☆内容 スライムを製作して、化学変化が起こる仕組みを学習した。

### 星の宅配便

科学館の職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催した。

開催時期 平成25年4月から11月まで  
 開催回数 7回  
 参加者数 約430人

|     | 開催日時                         | 開催場所         | 共催団体         | 参加者数  | 内 容                  |
|-----|------------------------------|--------------|--------------|-------|----------------------|
| 第1回 | 平成25年 4月27日(土)<br>19時～20時30分 | 薫小学校         | 薫地域<br>公民館   | 約50人  | 土星の観察、星の見方の紹介など      |
| 第2回 | 平成25年 5月25日(土)<br>19時～20時30分 | 大島<br>小学校    | 大島地域<br>公民館  | 約60人  | 月の観察、星の見方の紹介など       |
| 第3回 | 平成25年 6月22日(土)<br>19時～20時30分 | 安積南地域<br>公民館 | 安積南地域<br>公民館 | 約60人  | 月の観察、国際宇宙ステーションの観察など |
| 第4回 | 平成25年 7月13日(土)<br>19時～20時30分 | 富久山<br>公民館   | 富久山<br>公民館   | 約100人 | 星座早見盤作り、宇宙の紹介など      |
| 第5回 | 平成25年 9月21日(土)<br>19時～20時30分 | 開成地域<br>公民館  | 開成地域<br>公民館  | 約30人  | 月の観察、星の見方の紹介など       |
| 第6回 | 平成25年10月11日(金)<br>18時～19時30分 | 高瀬<br>小学校    | 高瀬地域<br>公民館  | 約70人  | 月の観察、星のパズルのゲームなど     |
| 第7回 | 平成25年11月16日(土)<br>18時～19時30分 | 喜久田<br>小学校   | 喜久田<br>公民館   | 約60人  | 月や金星の観察、星の見方の紹介など    |

参加者総数 約430人



星の宅配便の様子

### 科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作を実施し出前講座を開催した。出前講座を通して科学の普及と広報を行った。

|     | 開催日時                             | 開催場所    | 参加者数 | 内 容                            |
|-----|----------------------------------|---------|------|--------------------------------|
| 第1回 | 平成25年 6月13日(木)<br>14時40分～15時10分  | 行健第二小学校 | 29人  | かっとびロケットを製作し、実験を行った。           |
| 第2回 | 平成25年 10月18日(金)<br>13時45分～14時30分 | 安積第二小学校 | 95人  | ぶんぶんゴマ・ぶっとびロケットを親子で製作し、実験を行った。 |

参加者総数 124人

### (3) 作品募集

#### 第13回コンピュータグラフィックス展

コンピュータグラフィックス作品を子どもから大人まで広く募集し、審査を経て展示を行うことにより、発表の機会を提供するとともに、コンピュータグラフィックスの知識や技術の向上を図った。

- ☆テーマ 未来の宇宙
- ☆募集締切 平成25年9月29日(日)
- ☆応募作品 静止画部門 小学生以下の部55点 中学生の部84点 一般(高校生以上)の部17点  
動画部門4点
- ☆審査委員 伊藤 峰洋氏(有限会社峰洋デザイン代表、デザイナー)  
内田 章氏(学校法人新潟総合学院FSGカレッジリーグ事業企画部新環境事業室 室長)  
荻野 由則氏(郡山市教育委員会教育研修センター所長)  
菅野 洋人氏(郡山市立美術館主任学芸員)  
西村 憲氏(会津大学上級准教授)  
原田 裕也氏(郡山市立富田中学校教諭)  
三浦 浩喜氏(福島大学教授)  
渡邊 誠一氏(福島県立清陵情報高等学校教諭)
- ☆展示期間 平成25年11月9日(土)～平成26年1月13日(月)  
※表彰式：平成25年11月17日(日)10時30分～11時
- ☆展示場所 展望ロビー
- ☆受賞作品
- <静止画部門【大賞】名誉館長賞>  
「宇宙の外へ」蛇石 可奈子さん(福島県立郡山商業高等学校3年生)
- <静止画部門【準賞】スペースパーク賞>  
「未来の時代連鎖」井上 ゆうさん(郡山市立桜小学校6年生)  
「宇宙にそびえ立つ摩天楼」高阪 大地さん(郡山市立郡山第三中学校3年生)
- <静止画部門小学生以下の部 優秀賞>  
「未来の宇宙の星たちはまるじゃない！」渡部 尚也さん(郡山市立薫小学校5年生)  
「未来の天の川はなんとホタル!？」笹川 桃子さん(郡山市立薫小学校5年生)  
「宇宙を泳いで、次はどこに行こうかな！」橋本 先絵さん(郡山市立薫小学校5年生)
- <静止画部門中学生の部 優秀賞>  
「小規模宇宙旅行」阿部 風音さん(郡山市立郡山第三中学校3年生)  
「宇宙の危機と地球人の脱出」高橋 咲衣さん(郡山市立安積第二中学校2年生)  
「未来の地球」佐藤 あめるさん(郡山市立郡山第二中学校1年生)
- <静止画部門一般(高校生以上)の部 優秀賞>  
「—宇宙理論の未来—」江尻 誠さん(いわき市・一般)  
「軸」蕪木 瑞希さん(国際アート&デザイン専門学校1年生)  
「自然がたくさん」高崎 誠太さん(国際アート&デザイン専門学校2年生)
- <動画部門【大賞】名誉館長賞>  
該当作品なし
- <動画部門【準賞】スペースパーク賞>  
「ひろってください」阿部 風音さん、佐川 里子さん(郡山市立郡山第三中学校3年生)  
「未来の旅行」円谷 公祐さん(国際アート&デザイン専門学校1年生)

## <学校賞>

郡山市立芳賀小学校(応募数21点)

郡山市立郡山第二中学校(応募数34点)

国際アート&デザイン専門学校(応募数14点)



静止画部門【大賞】名誉館長賞  
「宇宙の外へ」



静止画部門【準賞】スペースパーク賞  
「未来の時代連鎖」



静止画部門【準賞】スペースパーク賞  
「宇宙にそびえ立つ摩天楼」

## ふくしま星・月の風景フォトコンテスト事業

福島県内の風景と星・月が撮影された写真を募集し、選出された作品展を開催することで、福島県の星・月の風景を通して天文普及を図った。また、これまでのコンテスト作品の巡回展示及び会場でのギャラリートークを県内外で行い、広く普及活動を実施した。

### <第3回 ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト>

☆テーマ 福島県内で撮影された「星・月の風景」

☆募集期間 平成25年11月1日(金)～12月31日(火)

☆協賛 (株)シグマ

☆後援 福島県・郡山市観光協会・

福島民報社・福島民友新聞社・朝日新聞福島総局・毎日新聞福島支局・

読売新聞東京本社福島支局・産経新聞福島支局・NHK福島放送局・福島テレビ・

福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・ラジオ福島・ふくしまFM

☆応募作品 352点(127人)

☆審査員 鈴木 一雄氏(自然写真家)

渡部 潤一氏(天文学者)

☆選出作品 大賞1点、審査員特別賞2点、特別賞5点、入賞33点

☆展示期間 平成26年3月8日(土)～5月25日(日)

※表彰式：平成26年3月8日(土)14時30分～15時30分

☆展示場所 23階ホワイエ

☆出版物 「ふくしま星・月の風景 Vol.3 ー第3回ふくしま星・月の風景 作品写真集ー」

座談会集録「ふくしま星・月の風景から語る」リーフレット



【大賞】「星夜桜」



表彰式の様子



審査の様子

＜ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展 巡回展示＞

郡山市役所市民ギャラリー展

☆展示期間 平成25年5月1日(水)～5月17日(金)

☆展示場所 郡山市役所 市民ギャラリー(本庁舎 1階)

☆主催 催 郡山市ふれあい科学館

☆内 容 第2回コンテスト選出作品のうち入賞以上の作品及び市内撮影の優秀作品25点

三重展

☆展示期間 平成26年2月8日(土)～3月11日(火)

☆展示場所 三重県立みえこどもの城(三重県松阪市)

☆主催共催 三重県立みえこどもの城

☆内 容 第2回コンテスト選出作品40点

いわき展(浜通りの作品を特集した特別展)

☆展示期間 平成26年3月1日(土)～31日(月)

☆展示場所 いわき市民ギャラリー(いわき市)

☆主催共催 いわき・ら・ら・ミュウ

☆内 容 第1回～第3回コンテスト選出作品から浜通りで撮影された写真及び第3回コンテストの大賞・特別賞選出作品38点



巡回展示(いわき展)の様子



巡回展示(郡山市役所市民ギャラリー展)の様子

#### (4) 参加型企画展

##### 鉄道の日 鉄道フェスティバル

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR郡山駅、JR貨物東北支社、鉄道貨物協会東北支部などの協力のもと、鉄道ジオラマや鉄道関連資料を展示したフェスティバルを開催した。

☆開催日時 平成25年10月12日(土)・13日(日)・14日(月・祝)10時～17時

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 1,792人

☆内容 ①鉄道ジオラマショー

1日3回行っているジオラマショーを、期間中は毎日1時間ごと、計7回行った。

また、11時、13時、15時、17時からの4回は、鉄道の童謡に合わせてジオラマ内の列車を走らせる「鉄道ジオラマショースペシャル」を行った。

②鉄道模型の操作体験

人気のNゲージ鉄道模型の操作体験を行った。持ち込み車両の操作も行った。

③鉄道資料展示

元鉄道ボランティアや福島市の方などの協力により、記念切符や鉄道に関する貴重な資料を展示した。

④工作広場

ボランティアの方などの協力により、新幹線の絵が描かれたプラ板を使ったプラ板アクセサリ作りを行った。

⑤手回しトロッコ「てトロ」体験コーナー

手回しの動力で動くトロッコの試乗体験を行った。

⑥プラレールで遊ぼう

プラレールで自由に遊べるコーナーを設置し、子どもたちに自由に遊んでいただいた。



鉄道模型操作体験の様子



手回しトロッコ「てトロ」の様子

##### 全館企画「アイソンスペシャル！」

平成25年11月29日の明け方にアイソン彗星が太陽に最も近づき、その前後は、明るく光り、肉眼観測が出来るほどの大彗星になる可能性があるとして期待されたことから、アイソン彗星をはじめとする彗星全般について紹介する企画展を、全館通して開催した。

☆開催期間 平成25年11月9日(土)～12月8日(日)

☆開催場所 21階～23階など

☆参加者数 3,408人 (宇宙劇場イブニングアワー観覧者、展示ゾーン入館者、観望会参加者の合計)



彗星ツアーの様子

## スペースパーク企画展「エレメントハンター」～元素の謎を探れ!～

世の中の万物を構成する「元素(エレメント)」について、テレビアニメのキャラクター「エレメントハンター」になった気分で、元素を学べるゲーム(展示物)に挑戦し、学びながら体験できる企画展を実施した。また、スタンプラリーも開催しオリジナルカードをプレゼントした。

☆開催日時 平成25年12月7日(土)～平成26年1月13日(月・祝)10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 7,213人



開催の様子



開催の様子

## ＜スペースパーク企画展特別イベント 錬金術に挑戦!金銀銅メダルを作ろう＞

企画展に連動し、元素と錬金術の関係やその歴史を紹介しながら、メダルにメッキをする化学実験を実施した。

☆開催日時 平成25年12月27日(金)

①10時30分～12時30分

②13時30分～16時00分

☆講 師 岡田 努先生(ふくしまサイエンスぶらっとフォーム(福島大学))

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 一般来館者

☆参加者数 100人



開催の様子

## ＜スペースパーク企画展特別イベント エレメントハンターの声優たちがスペースパークにやってくる!!＞

企画展に連動し、テレビアニメ「エレメントハンター」の声優でロドニー・フォード役の佐々木望さんとトム・ベンソン役の陶山章央さん、エンディングテーマ「スイヘイリーベ～魔法の呪文～」を歌っている柿島伸次さんが、スペースパークに遊びにやってきました、声優さんのサイン会と柿島伸次さんのコンサートを実施した。

☆開催日時 平成26年1月11日(土)

サイン会：13時30分～14時00分      コンサート：15時15分～15時45分

☆開催場所 サイン会：展示ゾーン      コンサート：展望ロビー

☆対 象 一般来館者

☆参加者数 サイン会50人、コンサート100人



サイン会の様子



コンサートの様子

### ロボットで遊ボット!

ロボット大会等で活躍している福島県立郡山北工業高等学校・福島県立清陵情報高等学校・福島県立白河実業高等学校との連携事業を開催した。

#### <ロボット展示・操作体験>

福島県立郡山北工業高等学校や福島県立清陵情報高等学校、福島県立白河実業高等学校で製作したロボットの展示や、ロボットの操作体験ができる催しを開催した。

☆開催日時 平成26年3月21日(金・祝)～4月6日(日)10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 4,904人



ロボット展示・操作体験の様子

#### <ロボット工作ワークショップ>

福島県立郡山北工業高等学校や福島県立清陵情報高等学校の先生・生徒を講師に招いて、簡単なロボット工作が楽しめるワークショップを開催した。

☆開催日時 平成26年3月22日(土)・23日(日)、4月5日(土)14時～16時

☆開催場所 実験工房

☆対象 小学3年生～中学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 51人(3月22日:18人、3月23日:19人、4月5日:14人)



ロボット工作ワークショップの様子

#### <スペースパーク春場所 ロボット相撲大会>

相撲ロボットを使って、ロボット競技大会を開催した。

☆開催日時 平成26年3月29日(土)・30日(日)14時～15時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小中学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 32人(各日16人)



スペースパーク春場所  
ロボット相撲大会の様子

#### <発電の絆 ロボット競技大会>

発電ロボットを使って、ロボット競技大会を開催した。

☆開催日時 平成26年4月6日(日)14時～15時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 24人



発電の絆 ロボット競技大会の様子

## (5) クラブ活動

### 天文クラブ

プラネタリウムの特性や天体望遠鏡を活用し、四季を通じて天文学の基礎や天文現象などを総合的かつ体験的に学習するクラブを開催した。

☆開催回数 7回(平成25年6月～平成26年2月)

☆対象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 30人

| メニュー         | 開催日時                           | 開催場所       | 参加者数             |
|--------------|--------------------------------|------------|------------------|
| 月と土星を見よう!    | 平成25年 6月15日(土)<br>19時～20時30分   | 郡山市ふれあい科学館 | 50人<br>(保護者を含む。) |
| 星座を見つけよう     | 平成25年 7月 6日(土)<br>9時45分～11時45分 | 郡山市ふれあい科学館 | 24人              |
| ロケットを作ろう     | 平成25年 9月 7日(土)<br>9時45分～12時15分 | 郡山市ふれあい科学館 | 25人              |
| ミニ望遠鏡を作ろう    | 平成25年10月 5日(土)<br>9時45分～11時45分 | 郡山市ふれあい科学館 | 11人              |
| ミニ望遠鏡を使ってみよう | 平成25年11月 2日(土)<br>9時45分～11時45分 | 郡山市ふれあい科学館 | 15人              |
| 冬の星を見よう!     | 平成26年 1月11日(土)<br>18時30分～20時   | 郡山市ふれあい科学館 | 40人<br>(保護者を含む。) |
| 惑星めぐり        | 平成26年 2月 1日(土)<br>9時45分～11時45分 | 郡山市ふれあい科学館 | 21人              |

延べ参加者数 186人



ミニ望遠鏡操作の様子



展望ロビーでの惑星めぐりの様子

## 科学クラブ

実験・観察・工作を一人一人が体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催した。

☆開催日時 毎月第2・第4土曜日 10時～12時

☆開催場所 実験工房

☆開催回数 7回(平成25年6月～平成26年2月)

☆対象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 50人(Aクラス：25人、Bクラス：25人)

| メニュー          | クラス | 開催日            | 参加者数 |
|---------------|-----|----------------|------|
| 小さな世界をのぞいてみよう | A   | 平成25年 6月 8日(土) | 23人  |
|               | B   | 平成25年 6月22日(土) | 20人  |
| 見えない光を見てみよう   | A   | 平成25年 7月13日(土) | 23人  |
|               | B   | 平成25年 8月31日(日) | 19人  |
| 磁石で大実験        | A   | 平成25年 9月14日(土) | 22人  |
|               | B   | 平成25年 9月28日(土) | 20人  |
| 空気のカ          | A   | 平成25年10月19日(土) | 23人  |
|               | B   | 平成25年10月26日(土) | 9人   |
| リサイクルを考えよう    | A   | 平成25年11月 9日(土) | 19人  |
|               | B   | 平成25年11月23日(土) | 13人  |
| カラダの不思議       | A   | 平成25年12月14日(土) | 20人  |
|               | B   | 平成26年 1月25日(土) | 16人  |
| 慣性の法則を体験      | A   | 平成26年 2月15日(土) | 8人   |
|               | B   | 平成26年 2月22日(土) | 17人  |

延べ参加者数 252人



「リサイクルを考えよう」の様子



「空気のカ」の様子

## 科学情報クラブ

コンピュータを使い、写真加工、動画編集、ロボット製作などを、楽しみながら学ぶことのできるクラブを開催した。

☆開催日時 毎月第1・第3土曜日 10時～12時

☆開催場所 パソコン工房

☆開催回数 7回(平成25年6月～平成26年2月)

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 32人(Aクラス：16人、Bクラス：16人)

| メニュー             | クラス | 開催日             | 参加者数 |
|------------------|-----|-----------------|------|
| 名刺を作ろう           | A   | 平成25年 6月 1日(土)  | 13人  |
|                  | B   | 平成25年 6月 15日(土) | 12人  |
| プラ板キーホルダーを作ろう    | A   | 平成25年 7月 6日(土)  | 14人  |
|                  | B   | 平成25年 7月 7日(日)  | 13人  |
| ロボットを作ろう         | A   | 平成25年 9月 7日(土)  | 14人  |
|                  | B   | 平成25年 9月 21日(土) | 13人  |
| ペーパークラフトを作ろう     | A   | 平成25年10月 5日(土)  | 11人  |
|                  | B   | 平成25年10月 19日(土) | 10人  |
| コンピュータミュージックを作ろう | A   | 平成25年11月 2日(土)  | 10人  |
|                  | B   | 平成25年11月 16日(土) | 13人  |
| ペン立てを作ろう         | A   | 平成25年12月 7日(土)  | 11人  |
|                  | B   | 平成26年 1月 18日(土) | 14人  |
| DVDを作ろう          | A   | 平成26年 2月 1日(土)  | 12人  |
|                  | B   | 平成26年 2月 15日(土) | 7人   |

延べ参加者数 167人



「プラ板キーホルダーを作ろう」の様子



「ペン立てを作ろう」の様子

## 天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を、テーマ別に3期開催した。

### 第1期:『星のソムリエ』になりませんか?』

- ☆開催回数 8回(平成25年5月～11月)
- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場
- ☆対象 高校生以上一般
- ☆参加者数 30人(延べ参加者数:233人)

| メニュー             | 開催日時                    | 参加者数 |
|------------------|-------------------------|------|
| さあ、はじめよう         | 平成25年 5月22日(水) 19時～21時  | 31人  |
| 星座を見つけよう         | 平成25年 6月12日(水) 19時～21時  | 29人  |
| 望遠鏡のしくみ          | 平成25年 7月10日(水) 19時～21時  | 29人  |
| 望遠鏡を使ってみよう       | 平成25年 8月28日(水) 19時～21時  | 28人  |
| 宇宙はどんな世界         | 平成25年 9月18日(水) 19時～21時  | 28人  |
| 星空の文化に親しむ        | 平成25年 10月16日(水) 19時～21時 | 25人  |
| 星空案内の実際          | 平成25年 11月 6日(水) 19時～21時 | 29人  |
| 特別講座:講演会及び認定証授与式 | 平成25年 11月23日(土) 15時～18時 | 34人  |

延べ参加者数 233人

### 第2期:「一誕生から90年ー プラネタリウムの世界」

- ☆開催回数 5回(平成25年9月～平成26年2月)
- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場
- ☆対象 高校生以上一般
- ☆参加者数 30人(延べ参加者数:116人)

| メニュー                            | 開催日時                    | 参加者数 |
|---------------------------------|-------------------------|------|
| プラネタリウムの誕生と進化                   | 平成25年 9月 4日(水) 19時～21時  | 24人  |
| プラネタリウムを自作する!?<br>～手軽にプラネタリウム～  | 平成25年 10月 2日(水) 19時～21時 | 27人  |
| 光学式プラネタリウムの世界<br>～美しい星空の魅力～     | 平成25年 11月13日(水) 19時～21時 | 26人  |
| デジタルプラネタリウムの世界<br>～最新の天文学を目の前に～ | 平成25年 12月11日(水) 19時～21時 | 24人  |
| 補 講<br>～携わった人々から～               | 平成26年 2月26日(水) 19時～21時  | 15人  |

延べ参加者数 116人

**第3期:「新発見と論争で見る天文学～宇宙像の変遷～」**

- ☆開催回数 3回(平成26年1月～3月)
- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場
- ☆対象 高校生以上一般
- ☆参加者数 30人(延べ参加者数:75人)

| メニュー                           | 開催日時                   | 参加者数 |
|--------------------------------|------------------------|------|
| 宇宙を「科学」の眼で見る時代<br>～望遠鏡ができて～    | 平成26年 1月15日(水) 19時～21時 | 30人  |
| 天の星が地上へおりた時代<br>～写真技術と分光学～     | 平成26年 2月12日(水) 19時～21時 | 21人  |
| 宇宙の広がりを知る時代<br>～相対性理論から最新天文学へ～ | 平成26年 3月12日(水) 19時～21時 | 24人  |

延べ参加者数 75人



天文カレッジ第1期講座の様子



天文カレッジ第2期講座の様子



天文カレッジ第3期講座の様子

### 3 その他の事業

#### 星空案内人資格認定講座

山形大学理学部などが提唱する「星空案内人資格認定制度」の全国運営組織に参加し、天文カレッジ・天文ボランティア研修等の一環として資格認定講座を開講し、「星空案内人」資格認定を行った。

- ☆開催期間 平成25年4月～平成26年3月
- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場
- ☆講座開催回数 23回(うち天文カレッジ内7回)
- ☆受講者総数 305人



講座の様子

#### <星空案内人資格認定証授与式>

所定の認定基準を満たした受講者に対して、資格認定証の授与を行った。

- ☆開催日 平成25年11月23日(土)
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対象 星空案内人2人、星空案内人(準案内人)27人
- ☆内容 資格認定証授与  
記念講演  
講師：柴田 晋平氏(山形大学理学部教授)



認定証授与式の様子

#### 事業スタッフ調査研究

全職員が、近隣先進館の展示手法や解説、ワークショップの方法等の調査研究を行った。

| 調査日        | 調査先                      | 内容                                |
|------------|--------------------------|-----------------------------------|
| 平成25年4月16日 | つくばエキスポセンター、JAXA筑波宇宙センター | サイエンスショー、プラネタリウム、展示物、運営手法などに関する調査 |

#### 天文調査研究

宇宙や天文に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、新たな事業の企画立案、そして既存事業の充実を図るための調査研究を行った。

| 調査日                | 調査先                                     | 内容                                     |
|--------------------|---|--|
| 平成25年<br>6月3日～5日   | 日本プラネタリウム協議会全国プラネタリウム大会<br>(多摩六都科学館)    | プラネタリウム運営及び事業に関する調査並びに新投映システムの調査及び事例発表 |
| 平成25年<br>9月10日～12日 | 日本天文学会秋季年会<br>(東北大学)                    | 天文学最新情報及び天文教育の情報収集                     |
| 平成25年<br>9月24日～29日 | 新規採用職員研修<br>(明石市立天文科学館・大阪市立科学館・名古屋市科学館) | プラネタリウム投映手法並びに天文事業に関する研修及び調査           |

|                     |  |                      |
|---------------------|--|----------------------|
| 平成25年<br>11月17日～19日 | 第9回最新天文学の普及をめざすワークショップ<br>(東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構) | 宇宙論を中心とした、天文学最新情報の収集 |
| 平成25年<br>12月12日～14日 | プラネタリウムに係る資料借用<br>(明石市立天文科学館・名古屋市科学館・コスモプラネタリウム渋谷)   | 講座内容に関する情報収集及び調査研究   |
| 平成26年<br>1月26日～30日  | 全国プラネタリウム研修会及びハイブリッド・プラネタリウム研修会<br>(愛媛県総合科学博物館)      | プラネタリウム投映に関する情報収集    |

### <天文教育普及研究会 東北支部研究会>

東北地方各地の天文教育・普及に関心のある教員、研究者、学生、社会教育施設職員、天文愛好家などを対象に、天文教育・普及活動に関する内容の研究会を天文教育普及研究会東北支部との共催で実施した。

当館としても、天文教育・普及活動に関する事例発表を行うとともに、活動に関する調査研究を行った。

☆開催日 平成26年1月25日(土)～26日(日)

☆開催場所 多目的研修室

☆参加者数 41人



天文教育普及研究会東北支部研究会の様子

### 展示調査研究

宇宙や科学に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、展示更新や新たな事業の企画立案、そして既存事業の充実を図るための調査研究を行った。

| 調査日                 | 調査先  | 内容                                   |
|---------------------|--|--------------------------------------|
| 平成25年<br>6月26日～27日  | 平成25年度全国科学館連携協議会総会<br>(日本科学未来館)<br>多摩六都科学館 | 全国の科学館に関する情報収集及び施設視察                 |
| 平成25年<br>10月17日～18日 | 平成25年度第1回全国科学館連携協議会<br>東北ブロック会議(仙台市天文台)    | 東北地域の科学館に関する情報収集、ワークショップに関する事例発表及び調査 |
| 平成25年<br>11月10日～11日 | 平成25年度全国科学館連携協議会国内研修                       | 科学館と大学・研究機関との連携事例紹介と意見交換             |
| 平成26年<br>2月9日～10日   | サイエンスショーフェスティバル(日立シビックセンター)                | サイエンスショーに関する情報収集                     |
| 平成26年<br>2月13日～14日  | 平成25年度全国科学館連携協議会第2回国内研修(広島市こども文化科学館)       | 科学館・博物館と学校との連携事例紹介と意見交換              |

|                    |   |                            |
|--------------------|---|----------------------------|
| 平成26年<br>2月19日～21日 | 第10回全国科学博物館協議会総会・研究発表大会(北九州市立自然史・歴史博物館)<br>福岡県青少年科学館・北九州市漫画ミュージアム視察 | 全国の博物館に関する情報収集             |
| 平成26年<br>2月28日     | 平成25年度第2回全国科学館連携協議会<br>東北ブロック会議(盛岡市子ども科学館)                          | 東北の科学館に関する情報収集             |
| 平成26年<br>3月6日～8日   | 新規採用職員研修<br>(姫路科学館・大阪市立科学館・名古屋市科学館)                                 | サイエンスショーや展示手法及び運営手法等について調査 |

## 情報発信

### ○ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信した。

更新回数：261回

参照回数：239,967件

### ○メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、星座の紹介などを毎月メールで配信した。

配信回数：13回

配 信 先：904件(平成26年3月現在)

### ○科学館ニュース

天文トピックス、科学実験アラカルト、スペースパークの出来事、宇宙劇場の番組紹介、科学館案内&募集コーナー等、様々な情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を発行し、市町村教育委員会や学校等教育施設などに配付した。

・ A4カラー12ページ 47号～50号(年間4回)

・ 発行部数：10,000部/各号

### ○プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したリーフレットを作成し、年5回発行した。

・ A4カラー4ページ

・ 発行総数：390,000部

### ○学校利用の手引き

小学校や中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、冊子にまとめ、市内及び県内の小中学校等に配付し、学校団体利用の促進を図った。

・ A4白黒24ページ

・ 発行部数：5,000部

## 共催事業

### ○「宇宙の日」記念全国小・中学生作文絵画コンテスト

「全国小・中学生作文絵画コンテスト」のうち、絵画の部についての募集から審査までを共催で実施し、入選作品の展示会を開催した。

- ☆テーマ 宇宙のしごと
- ☆部門 小学生部門、中学生部門
- ☆募集期間 平成25年4月26日(金)～7月31日(水)
- ☆応募作品 372点(小学生部門：336点、中学生部門：36点)
- ☆受賞作品 最優秀賞：各部門1点  
優 秀 賞：各部門2点  
佳 作：小学生部門3点、中学生部門3点
- ☆審査員 室井 彩子氏(郡山市立安積第一小学校教諭)  
馬場 朝子氏(郡山市立郡山第五中学校教諭)

### 「表彰式」

- ☆開催日時 平成25年9月23日(月・祝) 11時～11時30分
- ☆開催場所 多目的研修室

### 「受賞作品展」

各部門で受賞した作品展を22階展望ロビーに展示した。

- ☆展示期間 平成25年9月23日(月・祝)～10月6日(日)

- ☆展示場所 展望ロビー

※主 催： 文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、独立行政法人宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、(一財)リモート・センシング技術センター、(一財)日本宇宙フォーラム、郡山市、郡山市教育委員会、郡山市ふれあい科学館(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)

協 力： (公財)日本宇宙少年団



表彰式後の記念撮影の様子

### <星空環境ゼミ>

#### ○環境パネル展

6月の環境月間及び12月の地球温暖化防止月間に合わせ、市生活環境課が行うパネル展に協力し、科学館でもパネルを出展して22階展望ロビーでパネル展を開催した。

- ☆開催期間 平成25年6月1日(土)～6月30日(日)  
11月30日(土)～平成26年1月6日(月)

### <みんなの食卓キャンペーン みんなで学ぼう!野菜のチカラ～おもしろ実験教室～>

福島放送・ヨークベニマルとの連携で食の安全や食べることの重要性を考える食育を目的に実施した。

- ☆開催日時 平成25年8月31日(土)11時30分～16時
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆講 師 杉浦 温子氏 (ヨークベニマルのフードコーディネータ)  
梅本 顕史・中村 瞳・渡辺 緑 (郡山市ふれあい科学館)
- ☆対 象 小学生～一般

☆参加者数 40人

☆内 容 ヨークベニマルのフードコーディネータの杉浦温子さんより、三色野菜郡と食事バランスについてのお話や、1日に必要な野菜の量をサラダバーで体験などを行い、科学館は、玉ネギの細胞を顕微鏡で観察し、その生物の設計図であるDNAを抽出する実験を行い、野菜を使った実験ショーも実施した。



開催の様子

### <科学技術へのいざない>

新潟大学工学部と連携し新潟大学で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行った。

☆開催日時 平成25年9月22日(日)11時30分～16時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学生～一般

☆参加者数 237人

☆内 容 「水素エネルギーを体験してみよう、放射線のいろいろ、放射線の飛び方をみてみよう、光るスライムをつくろう、液状化ってなに?～やわらかくなる砂～、リモコンオルゴールを作ろう!、超～ふしぎ!低温の世界、高吸水性ポリマーを使って芳香剤をつくろう」の実験を行った。科学館は、わくわく科学工作～紫外線をみつけよう～と題しUVとんぼを工作した。



開催の様子

### <コズミックカレッジ>

独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)と共催し小学1年生～4年生とその保護者を対象にしたキッズコースを開催した。

☆開催日時 平成25年11月10日(日)10時30分～15時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学1年生～4年生と保護者

☆講 師 佐野 亮二氏(郡山市立郡山第三中学校教諭 宇宙教育リーダー)

園部 毅氏(福島大学附属中学校教諭 宇宙教育リーダー)

鈴木 典秋・水谷 有宏(郡山市ふれあい科学館)

☆定 員 18組(34人)

☆内 容 コズミックカレッジの宇宙教育リーダーの認定を取得した市内の中学校の先生が講師となり、11月下旬から地球に接近したアイソン彗星の話題から「彗星」をテーマに、実験や工作で学べる講座を開催し、宇宙への夢を膨らませていただいた。



講師紹介



彗星の尾の実験の様子

### <ふくしまサイエンスぶらっとフォーム>

福島大学や県内の公設研究機関と科学・博物館で構成される機関に加盟し情報交換や科学普及のイベントを行った。

#### 「基盤S学芸員研修」

☆開催日時 平成25年5月8日(水)10時～17時30分

☆開催場所 パソコン工房

#### 「第1回運営協議会」

☆開催日時 平成25年5月15日(水)15時～17時

☆開催場所 多目的研修室

#### 「第1回ワーキンググループ会議」

☆開催日時 平成25年6月26日(水)15時～17時

☆開催場所 多目的研修室

#### 「第2回ワーキンググループ会議」

☆開催日時 平成25年10月10日(木)15時～17時

☆開催場所 福島県立図書館 研修室

#### 「ムシテック誕生祭参加」

☆開催日時 平成25年10月27日(日)9時～16時

☆開催場所 ムシテックワールド

#### 「サイエンス屋台村 in いわき」

☆開催日時 平成25年11月30日(土)10時～16時

☆開催場所 いわき産業創造館(LATOVいわき)

#### 「第2回運営協議会」

☆開催日時 平成26年2月27日(木)15時～17時

☆開催場所 多目的研修室

### <食品中の放射性物質に関するコミュニケーター養成研修>

消費者庁が主催する食品中の放射性物質に関するコミュニケーター養成研修を県内の学校や農林水産、福祉など放射線に関係する部署の担当者向けに共催で実施した。

☆開催日時 平成26年2月5日(水)10時～16時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小・中学校教育職員等：学校運営や学級担任等の関係者等

☆講師 野村 貴美氏(元東京大学大学院工学系研究科特任准教授)

葛西 賀子氏(元青森放送アナウンサー)

☆参加者数 50人

☆内容 放射線の特性、今回の汚染状況、情報の伝え方のポイント、流通している食品の安全性の現状や放射性物質を規制するための基準値はどのようにして決められたかなどのお話をした。



開催の様子

### <親子で学ぼう！放射線実験教室>

経済産業省資源エネルギー庁と公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館の協力により、親子で実験をしながら放射線について学ぶ実験教室を開催した。

☆開催日時 平成26年3月1日(土)・2日(日) ①11時～12時, ②14時～15時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学生とその保護者

- ☆講師 掛布 智久先生、井畑 太一郎先生(公益財団法人日本科学技術振興財団)
- ☆参加者数 63人
- ☆内 容 放射線について実験やクイズを交えながら、紙芝居を使って分かりやすく解説していただいた。霧箱を作って放射線の飛ぶ軌跡を見たり、放射線測定器で色々な物質の放射線量を測定する実験を行った。



開催の様子

#### <産総研キャラバン2014こおりやま>

独立行政法人産業技術総合研究所(産総研)と連携し、産総研で研究している技術の一端を体験型の展示や工作教室で体験いただく「産総研キャラバン2014 こおりやま」を開催した。

- ☆開催日時 平成26年2月8日(土)・9日(日) 10時~17時
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 245人
- ☆内 容 2本の足で歩く人間型ロボットヒューマノイドロボット「HRP-2」や目標物を設定すると自動的に追従して動く追従型の車いす「連結型パーソナルモビリティ」の実演、力を入れた時に筋肉に流れる電気「筋電」をセンサーで読み取り、電車を走らせる体験などを行った。また、移動地質標本館では化石や鉱物の標本などの展示を行った。



「HRP-2」の実演の様子

#### <集まれ!科学だいすきっず!! in スペースパーク>

県内の大学等26団体が連携して共同教育プログラムを実施している「アカデミア・コンソーシアムふくしま」と連携し、大学生のプレゼンテーション力やコミュニケーション力などを高めるため、学生が自ら企画した科学体験教室を開催した。

- ☆開催日時 平成26年2月23日(日) 11時~15時
- ☆開催場所 展示ゾーン、多目的研修室
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆参加校 郡山女子大学、日本大学工学部、福島大学
- ☆参加者数 約120人
- ☆内 容 参加する大学生の事前研修として、当館のスペースクルーが講師となり、接遇研修を行った。実験や工作の実演では、郡山女子大学が「味覚発見!好みの甘さ調べ!」「味覚探検!ミラクルフルーツの不思議」、日本大学工学部と福島大学が共同で「ドラゴンフライヤー」を実施した。



実験・工作の様子

#### <郡山市少年少女発明クラブ>

社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営した。ロボットやトランジスタラジオなどの製作を通して、発明の楽しさを体験するクラブを開催した。

- ☆開催日時 毎月第3日曜日(平成25年5月~平成26年2月)  
10時~12時
- ☆開催場所 実験工房

- ☆開催回数 10回
- ☆対 象 小学3年生～中学3年生
- ☆クラブ員 30人
- ☆専任指導員 黒森 五郎氏、大越 清美氏
- ☆内 容 ゴム動力で動く工作、ラジオ作り、  
手回しバンデグラフ など



クラブ活動の様子

### 館実習

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を行った。

- ☆開催期間 平成25年9月4日(水)～11日(水)  
※9日(月)を除く7日間
- ☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等
- ☆実習生 4人  
郡山女子大学短期大学部文化学科：2人  
昭和音楽大学音楽学部音楽芸術運営学科：1人  
東北芸術工科大学デザイン工学部映像学科：1人

| 実習日          | 実習内容                    |
|--------------|-------------------------|
| 平成25年9月4日(水) | 開講式、施設見学、実習説明、番組見学、接遇研修 |
| 5日(木)        | 宇宙劇場解説実習、ポスター制作         |
| 6日(金)        | 宇宙劇場課題発表、来館者対応実習        |
| 7日(土)        | クラブ活動対応実習、展示実習          |
| 8日(日)        | 来館者対応実習、番組見学、展示実習       |
| 9日(月)        | 休館日                     |
| 10日(火)       | 団体対応実習、展示実習             |
| 11日(水)       | 展示実習発表、ポスター発表、閉講式       |



館実習の様子

### その他

#### <日本宇宙少年団こおりやま分団>

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動をしている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動について、科学館職員がモデルロケット工作の指導や宇宙開発に関する講義を行うなどの支援を行った。

- ☆活動日 平成25年4月～12月の毎月1回程度実施
- ☆活動場所 郡山市ふれあい科学館、郡山カルチャーパークなど
- ☆活動内容 モデルロケット工作、天体観測、科学実験など
- ※毎月第2水曜には、郡山市ふれあい科学館にてリーダー会議を開催した。

## 4 ボランティア関係事業

### 全体の概要

平成16年2月に自主運営組織「スペースパークボランティアの会(略称：S.P.V)」が発足し、今年度10周年を迎えた。

本年度は、ボランティアユニフォームを新調し、記念式典等を行った。また、会員各自が、さらに積極的に活動のレベルアップを図るとともに、活動範囲の拡大、そして、市民へボランティア活動を行おうとする心をひろめ、生涯学習ボランティア活動のより一層の発展を目指し、ボランティア活動を行った。



### スペースパークボランティア大募集

案内サービス・鉄道ジオラマ・科学・天文の各ボランティアを広く市内外から募集した。

#### <募集スケジュール>

| 募集期間                        | 登録前オリエンテーション   | ボランティア研修      |
|-----------------------------|----------------|---------------|
| 平成25年 3月1日(金)<br>～ 4月29日(月) | 平成25年 5月26日(日) | 平成25年 6月9日(日) |

#### ※登録前オリエンテーション

応募者を対象に、スペースパークボランティアの会及び活動内容について理解を深めることを目的として開催

#### ※ボランティア研修

ボランティア登録者を対象に、生涯学習についてグループごとに専門研修を開催



登録前オリエンテーションの様子



ボランティア研修の様子

#### <登録状況>

##### ☆グループ別

|             | 案内サービス | 鉄道ジオラマ | 科学  | 天文  | 合計   |
|-------------|--------|--------|-----|-----|------|
| 前年度からの登録更新者 | 17人    | 6人     | 33人 | 45人 | 101人 |
| 平成25年度登録者   | 2人     | 1人     | 7人  | 2人  | 12人  |
| 合計          | 19人    | 7人     | 40人 | 47人 | 113人 |

☆区分別

|             | 性 別 |     | 職業の有無 |     |     | 地域別 |     |     |
|-------------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
|             | 男   | 女   | 有 職   | 無 職 | 学 生 | 市 内 | 市 外 | 県 外 |
| 前年度からの登録更新者 | 43人 | 58人 | 58人   | 38人 | 5人  | 88人 | 10人 | 3人  |
| 平成25年度登録者   | 2人  | 10人 | 5人    | 4人  | 3人  | 10人 | 1人  | 1人  |
| 合 計         | 45人 | 68人 | 63人   | 42人 | 8人  | 98人 | 11人 | 4人  |

☆年代別

| 年 代 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 人 数 | 7人  | 17人 | 7人  | 6人  | 29人 | 31人 | 11人 | 5人  |

**ボランティア活動**

<ボランティア活動>

○案内サービスボランティア

☆活動日時 平日：午前の部(9時30分～13時)

土曜・日曜・祝日：午前の部(9時30分～13時)、午後の部(12時30分～16時)

☆内 容 展望ロビーでの景色・郡山の歴史案内、科学館の総合案内、高齢者・身障者の観覧補助

☆延べ活動時間/人数 837時間/245人

○鉄道ジオラマボランティア

☆活動日時 平日：午前の部(9時30分～13時)

土曜・日曜・祝日：午前の部(9時30分～13時)、午後の部(12時30分～16時)

☆内 容 鉄道ジオラマ各時代の鉄道車両及び郡山の歴史説明

☆延べ活動時間/人数 439時間/176人

○科学ボランティア

☆活動日時 土曜・日曜・祝日・学校休業期間：午前の部(9時30分～13時)

午後の部(12時30分～16時)

☆内 容 実験・工作教室などの説明や製作の補助

☆延べ活動時間/人数 979時間/282人

○天文ボランティア

☆活動日時 天体観望会及び自主イベントのある夜間等

☆内 容 天体観望会などでの案内及び望遠鏡の操作補助

☆延べ活動時間/人数 319時間/97人

<出張ボランティア活動>

館外での生涯学習活動の場を求め、広く出張ボランティア活動を実施し、市民活動の一環として市民のみなさまと共に楽しみ、お互いの感動を共有し、市内におけるさらなる生涯学習活動の促進を目指し開催した。

| 事業名  | 開催日時                             | 開催場所                             | 参加人数 | 内 容                 |
|--|----------------------------------|----------------------------------|------|---------------------|
| 郡山市こどもまつり  | 平成25年 5 月 5 日(日)<br>10時~14時      | 郡山市こども総合<br>支援センター(ニコ<br>ニコこども館) | —    | 科学工作                |
| 親子ふれあい教室   | 平成25年 7 月 7 日(日)<br>10時~12時      | 薫地域公民館                           | 親子8組 | 科学工作                |
| 星空観察   | 平成25年 7 月26日(金)<br>19時~21時       | 小野町ふれあいの<br>森公園                  | —    | 天体観望会               |
| 星空観察   | 平成25年 7 月27日(土)<br>19時~21時       | 小野町ふれあいの<br>森公園                  | —    | 天体観望会               |
| 星空観察   | 平成25年 8 月 3 日(土)<br>19時~21時      | 小野町ふれあいの<br>森公園                  | 約40人 | 天体観望会               |
| 西っ子クラブ   | 平成25年 8 月31日(土)<br>9 時30分~11時30分 | 富田西地域公民館                         | 約50人 | 科学工作                |
| 大成なかよしクラブ  | 平成25年10月 5 日(土)<br>10時~12時       | 大成地域公民館                          | 22人  | 科学工作                |
| 安積地区市民文化祭  | 平成25年10月26日(土)<br>10時~15時        | 安積総合学習<br>センター                   | —    | 科学工作                |
| 郡山なかまち夢通り<br>「ウィンターフェスティバル<br>2013」                              | 平成25年11月 3 日(日)<br>10時30分~16時40分 | なかまち夢通り                          | —    | 科学工作<br>天文工作<br>紙芝居 |
| こども 暮れのつどい   | 平成25年12月 1 日(土)<br>9 時~13時30分    | 安積総合学習<br>センター                   | —    | 科学工作                |
| 鶴見坦2丁目子供会の<br>「クリスマス会」の科学<br>工作教室                                | 平成25年12月 8 日(土)<br>13時~15時       | 薫地域公民館                           | 37人  | 科学工作                |
| 平成25年度<br>青少年健全育成喜久田<br>地区協議会主催子育て<br>支援事業『わくわくクラブ』<br>もうすぐひなまつり | 平成26年 3 月 1 日(土)<br>10時~11時      | 喜久田ふれあい<br>センター                  | 約20人 | 科学工作                |
| 富田幼稚園  | 平成26年 3 月 7 日(金)<br>18時~20時      | 富田幼稚園                            | 130人 | 天体観望会               |

## 自主企画イベント

### <スペースパークボランティアまつり>

案内、科学、天文の各グループが、一年間の生涯学習活動の成果を、それぞれの活動の特色を活かした様々な企画により、市民の方に発表した。

☆開催日時 平成26年3月15日(土)・16日(日) 10時～17時

☆開催場所 22階展望ロビー

☆内 容 案内グループ 昔なつかし紙芝居、鉄道ジオラマの解説、昔遊び体験  
科学グループ ミウラ折り工作、折り紙教室  
天文グループ 星座早見盤づくり、天文写真展

22階展望ロビーにある掲示板に「我々の活動の記録～10年の歩みを振り返って～」と題して、歴代のボランティアつうしんや外部研修記録を展示した。



昔遊び体験(案内グループ)



ミウラ折り工作(科学グループ)



星座早見盤づくり(天文グループ)



過去のボランティアつうしん等を掲示(展望ロビー)

## 館事業サポート活動

### <サイエンスフェスティバル(ゴールデンウィーク)>

○科学ボランティア

☆開催日 平成25年5月3日(金・祝)～6日(月)

☆メニュー こいのぼり

### <サイエンスフェスティバル パート1(夏休み)>

○科学ボランティア

☆開催日 平成25年7月20日(土)～21日(日)

☆メニュー ブービー笛

### <サイエンスフェスティバル パート2(夏休み)>

○科学ボランティア

☆開催日 平成25年8月10日(土)~15日(木)

☆メニュー ブーブー笛

### <鉄道フェスティバル>

開催日 平成25年10月12日(土)~14日(月・祝)

○鉄道ジオラマボランティア

☆内容 会員所有の旧国鉄・JR関連の鉄道資料の展示、説明  
鉄道ジオラマショーの解説

○科学ボランティア

☆内容 プラバンアクセサリーの工作指導

○案内サービスボランティア

☆内容 来館者への案内

### 館事業における天体観望会等

#### <駅前観望会>

☆開催回数 6回

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場中央広場

☆内容 郡山駅前での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

#### <星の宅配便>

☆開催回数 7回

☆開催場所 市内公民館

☆内容 市内各地での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

#### <天体観望会>

☆開催回数 5回

☆開催場所 ニコニコこども館・大安場史跡公園・郡山市総合地方卸売市場

☆内容 市内各施設での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

### 研修等

#### <スペースパークボランティアの会他館研修会>

公益財団法人ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）

☆開催日 平成25年11月10日(日)

☆開催場所 公益財団法人ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）

☆参加者数 21人(各グループ対象)

#### <案内サービスボランティア研修>

22階展望ロビーから見える郡山の風景や歴史ガイドを行っており、活動のレベルアップのため以下の館外研修会を行った。

〔第18回 郡山歴史探索紀行ミニツアー(自主研修)〕

☆開催日 平成25年9月8日(日)

☆行程 日吉神社→安積国造神社→如法寺→水天宮等

☆参加者数 12人

## <天文ボランティア研修>

### 「『第30回胎内星まつり2013』自主研修」

- ☆開催日 平成25年8月23日(金)～25日(日)
- ☆開催場所 新潟県胎内市
- ☆参加者数 6人
- ☆内容 国内外の天文ファンが集まり、星の観望を楽しむイベントに参加し、S.P.Vブースを出展

### 「『2013年第2回 スターライトフェスティバル』自主研修」

- ☆開催日 平成25年10月12日(土)～14日(月・祝日)
- ☆開催場所 田村市星の村天文台
- ☆参加者数 10人
- ☆内容 全国の天文ファンが集まり星の観望を楽しむイベントに参加し、活動に協力した。

### 「アイソン合宿」

- ☆開催日時 平成25年11月22日(金)18時～23日(土)9時
- ☆開催場所 郡山市青少年会館
- ☆参加者数 12人

## <科学ボランティア研修>

### 「第10回 科学ボランティアツアー(自主研修)」

- ☆開催日 平成25年5月19日(日)
- ☆開催場所 会津-猪苗代：福島県立博物館・野口英世記念館
- ☆参加者数 5人

## <科学ボランティア自主勉強会>

### 「第7回科学ボランティア勉強会」

- ☆開催日 平成25年7月21日(日)
- ☆テーマ 「環境汚染物質と脳・遺伝子・染色体」、「タングラム」
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆参加者数 13人

### 「第8回科学ボランティア勉強会」

- ☆開催日 平成26年1月26日(日)
- ☆テーマ 「四大公害病～その時と今～」、「折り紙教室」
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆参加者数 16人

## 平成25年度総会

平成25年度活動報告、役員選出案、平成26年度活動計画案、会則の一部改正等を審議し、満場一致で承認した。また、会員の活動表彰(一定の活動時間を達成した会員に贈る)を行った。今年度は、7人が受賞した。

- ☆開催日 平成26年2月16日(日) 13時30分～14時30分
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆参加者数 112人(委任状含む。)

## 10周年記念式典・記念講演会

来賓挨拶後、会員の特別表彰（スペースパークボランティアの会から推薦され、一定の選定基準を満たした会員に贈る）を行い17人が受賞した。記念講演会として、アクアマリンふくしまボランティアの会会長杉山めぐみ氏をお招きし、「アクアマリンボランティアの会活動13年を迎えて」を開催した。

☆開催日時 平成26年2月16日(日) 15時～16時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆参加者数 38人



総会の様子



講演会の様子

会場には、「我々の活動の記録～10年の歩みを振り返って～」と題して、歴代のボランティアつうしんや外部研修記録、出張活動等が掲載された過去の新聞記事を展示した。

## 10周年記念祝賀会

ホテルプリシード2階レストランにて来賓挨拶後、テーブルスピーチ、新ユニフォーム披露、10年の活動を振り返ってのビデオ上映、お楽しみ大抽選会等を行った。

☆開催日時 平成26年2月16日(日) 17時45分～20時

☆開催場所 ホテルプリシード2階レストラン

☆参加者数 33人



記念祝賀会



新ユニフォーム披露

S.P.V広報活動

科学館のウェブサイトに掲載している、S.P.Vの活動紹介ウェブサイト更新及び広報誌「S.P.Vつうしん」を年4回発行した。



S.P.Vつうしん第37号



S.P.Vつうしん第38号



S.P.Vつうしん第39号



S.P.Vつうしん第40号

## Ⅲ 平成25年度広報・サービス活動

### 1 広報PR活動

#### (1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、テレビスポットを中心とした広報戦略活動を展開した。

##### ①テレビスポット

☆期間等 平成25年7月13日～8月18日 福島中央テレビ・福島放送、15秒スポット計70本  
☆内容 夏休みドーム映像番組「宇宙兄弟 一点のひかり」

☆期間等 平成25年12月7日～平成26年1月12日 福島中央テレビ・福島放送、  
15秒スポット計30本

☆内容 冬のドーム映像番組「恐竜探検隊 パンゲアのひみつ」

☆期間等 平成26年2月1日～3月9日 福島中央テレビ・福島放送、15秒スポット計16本  
☆内容 イブニングアワー「アラスカからオーロラ生中継」

☆期間等 平成26年3月21日～30日 福島放送、15秒スポット計15本  
☆内容 春休み特別企画「ロボットで遊ボット！」

##### ②新聞広告

☆掲載日等 平成26年1月7日 朝日新聞

☆内容 スペースパーク企画展「エレメントハンター ～元素の謎を探れ！～」  
冬のドーム映像番組「恐竜探検隊 パンゲアのひみつ」

#### (2) 広報紙及び雑誌・看板等

広報紙を県内各地に配布したほか、市の広報紙「広報こおりやま」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載した。

また、ビル入口への看板設置や、ペDESTリアンデッキへのフラッグバナーの掲示などを行った。

そのほか、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館のPRに努めた。

| 広 報 紙 送 付 先 |                 |
|-------------|-----------------|
| 幼稚園・保育所     | 市内(121)、市外(364) |
| 小学校         | 市内(62)、市外(419)  |
| 中学校         | 市内(29)、市外(212)  |
| 特別支援学校      | 県内(23)          |
| 公民館         | 市内(39)、市外(58)   |
| 関係機関・道の駅など  | 市内(46)、市外(206)  |

## 2 営業活動

### (1) 営業訪問の実態

#### ア 市内営業訪問

管理課と事業課職員とで班編成をし、市内のおよそ60ヶ所の各営業所（郡山市観光案内所、郡山商工会議所、磐梯熱海観光協会等）を訪問し、施設ガイドやプログラムガイド等を持参して店頭においてもらっている。

プログラムガイドは年間に5回発行するが、プログラムガイドが印刷業者から納入される時期に合わせ、その都度全職員で分担して各営業所を訪問している。

#### イ 市内学校訪問

郷土を学ぶ体験や学校の自主的来館を促進するため、管理課と事業課職員が分担をし、市内の全ての小・中学校を訪問している。

日頃からの本館利用のお礼、科学館のPR、見学・利用にあたっての要望事項の聞き取り等を目的としている。時間がある時には、幼稚園も訪問している。

#### ウ 県内学校訪問

来館団体数の増加をねらいとして、県内の小・中学校を訪問している。年次計画に従って地域を割り振り、5年ほどのサイクルで県内全区域にわたる小・中学校を訪問するようにしている。

#### エ 県外営業訪問

基本的に隣接県とし、本館の広報・来館拡大を図る目的で営業を行う。営業先は、旅行代理店、観光協会、物産館、公民館、市町村観光課、市町村教育委員会等である。営業先の選定は、担当者が行う。

平成23年～平成25年は、旅行代理店・観光協会を中心に営業活動をした。その理由としては、平成13年度開館当初からの来館団体を調べると、来館団体のコース選定が、旅行代理店が企画したものが多かったためである。

最近では東京に本店がある旅行代理店の企画で集まった団体客が何回も続けて来館するようになった。

### (2) 営業訪問の成果と今後の方向性

#### ア 成果

(ア) 定期的にプログラムガイド、イベントチラシを配布している効果は大きく、各イベントの内容についてもよく認知されている。

(イ) いまだに原発事故による風評被害がぬぐいきれず、まだまだ地域により差はあるが、直接学校を訪問してお礼を述べたり誘客をすることで、毎年の旅行目的地の候補になっていることが懇談の中身から伺い知れる。

(ウ) 県外においてはまだまだ当館の認知度が低い地域もあり、資料を持参しての説明により初めて興味・関心を持ってもらうケースが多い。

今後も新たな市場の開拓と継続的な訪問が必要と考える。

(エ) 特に県外においては、旅行代理店を通じての来館者が増える傾向にある。毎回の訪問先には是非とも入れておきたい。

(オ) 営業訪問した施設がすぐに翌年の来館に結びついているわけではない。しかしながら、いずれ機会があった時にコース選定の目的候補地の中に入れてもらうためにも、今後とも地道に営業を継続していきたい。

#### イ 今後の方向性

(ア) 県内の中学校においては、3年次の修学旅行を見据えて、1，2年次では班活動を中心とした会津若松方面、仙台方面への学習旅行を計画している学校がほとんどである。今後もその傾向は続くと思われるので、県内における訪問計画から中学校は思い切って外し、定期的なプログラムガイドとイベントチラシ等の送付のみにすることを検討したい。

そのかわりにこれからは、幼稚園、保育所、公民館等の営業訪問を充実させる方向で考えたい。

(イ) 店頭パンフレットを置いてもらうだけでは十分な集客は見込めない。例えば、市内の観光地の各施設と話し合いを深め、積極的に集客活動を行うことで、より確実に、より多くの集客が見込めるのではないか。

今後、市内外の観光施設、飲食店、温泉施設等、広範囲にわたっての旅客斡旋契約を考慮できないものだろうか。

(ウ) コンベンションビューローとの関係を密にしたい。今後、これまで以上に積極的に情報を交換し、市内で全国的なイベントが開催される場合には、施設ガイド、プログラムガイド等を配布するようにしたい。

(エ) 県外への営業訪問に関しては、過去の実績に鑑み、山形県と茨城県について営業を強化したい。

| 営業訪問先       |                                      |
|-------------|--------------------------------------|
| 幼稚園・保育所     | 市内(13)                               |
| 小学校         | 市内(59)、市外(84)                        |
| 中学校         | 市内(26)、市外(35)                        |
| 大学・専門学校     | 県内(4)                                |
| 市町村公民館      | 県外(1)                                |
| 旅行代理店・観光施設  | 県外(44)                               |
| ホテル・商店・病院など | ホテル(19)、観光業者(5)、商店(19)、病院(2)、その他(14) |

## Ⅳ 平成25年度決算

### 収入

(単位:円)

| 科 目      | 金 額         | 説 明                           |
|----------|-------------|-------------------------------|
| 基本財産運用益  | 16,110      |                               |
| 基本財産利息収入 | 16,110      |                               |
| 事業収益     | 306,167,615 |                               |
| 指定管理料収入  | 280,800,444 | 郡山市ふれあい科学館指定管理料収入             |
| 施設利用料金収入 | 24,924,180  | 観覧料、ピュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料    |
| 入場料収入    | 0           |                               |
| 販売収入     | 187,700     | 「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入 |
| 販売手数料収入  | 0           |                               |
| 雑収入      | 255,291     | 福島大学サテライト・カフェ光熱水費             |
| 雑収益      | 5,460,633   |                               |
| 受取利息収入   | 1,361       |                               |
| 雑収入      | 5,459,272   | 雇用保険料・勤労者互助会費個人負担分・東京電力賠償金等   |
| 合 計      |             |                               |

収入合計 ¥311,644,358

### 支出

#### 事業費(科学館施設管理)

(単位:円)

| 科 目   | 金 額         | 説 明                 |
|-------|-------------|---------------------|
| 給料手当  | 83,982,494  | 1 職員費 143,799,694   |
| 福利厚生費 | 20,995,996  |                     |
| 臨時雇賃金 | 38,821,204  | 2 各種業務委託 61,954,675 |
| 旅費交通費 | 532,390     |                     |
| 通信運搬費 | 2,004,092   | 3 光熱水費 24,636,489   |
| 消耗品費  | 2,440,390   |                     |
| 修繕費   | 2,540,495   | 4 施設管理費 26,687,633  |
| 印刷製本費 | 2,127,825   |                     |
| 賃借料   | 8,301,669   |                     |
| 諸謝金   | 207,950     |                     |
| 手数料   | 76,060      |                     |
| 租税公課  | 7,455,118   |                     |
| 負担金支出 | 58,389      |                     |
| 委託費   | 61,954,675  |                     |
| 燃料費   | 192,721     |                     |
| 光熱水料費 | 24,636,489  |                     |
| 損害保険料 | 738,034     |                     |
| 食糧費   | 12,500      |                     |
| 合 計   | 257,078,491 |                     |

#### 事業費(科学館主催事業)

(単位:円)

| 科 目   | 金 額        | 説 明                  |
|-------|------------|----------------------|
| 臨時雇賃金 | 639,932    | 1 市民鑑賞型事業 28,901,537 |
| 旅費交通費 | 976,930    |                      |
| 通信運搬費 | 0          | 2 市民参加型事業 16,916,073 |
| 消耗品費  | 8,245,286  |                      |
| 印刷製本費 | 7,550,760  | 3 その他 8,748,257      |
| 賃借料   | 13,692,932 |                      |
| 諸謝金   | 544,800    |                      |
| 手数料   | 4,725      |                      |
| 租税公課  | 9,400      |                      |
| 負担金支出 | 11,000     |                      |
| 委託費   | 18,406,601 |                      |
| 広告宣伝費 | 4,281,375  |                      |
| 損害保険料 | 62,060     |                      |
| 食糧費   | 140,066    |                      |
| 合 計   | 54,565,867 |                      |

支出合計 ¥311,644,358

収支差額 0

### 参考

(単位:円)

| 使用料名       | 金 額        | 説 明                                    |
|------------|------------|--|
| ふれあい科学館観覧料 | 23,777,580 | 宇宙劇場65,424人 常設展示59,366人 ワンイヤーパスポート124人 |
| ふれあい科学館使用料 | 1,146,600  | ピュースコープ利用回数4,468回 鉄道ジオラマ運転装置利用回数3,499回 |
| 合 計        | 24,924,180 |  |

## V 施設利用状況

### 1 月別入館者状況

平成25年4月～平成26年3月(平成25年度)

(単位:人)

| 月 別          | 展望ロビー   | 宇宙劇場   | 展示ゾーン  | 科学館入館者集計 |
|--------------|---------|--------|--------|----------|
| 平成25年<br>4 月 | 14,169  | 2,806  | 3,783  | 6,589    |
| 5 月          | 15,976  | 4,097  | 4,348  | 8,445    |
| 6 月          | 17,348  | 6,692  | 6,071  | 12,763   |
| 7 月          | 22,669  | 9,367  | 7,994  | 17,361   |
| 8 月          | 32,210  | 12,585 | 10,073 | 22,658   |
| 9 月          | 16,831  | 5,747  | 5,066  | 10,813   |
| 10月          | 15,000  | 4,390  | 4,230  | 8,620    |
| 11月          | 13,862  | 3,576  | 2,916  | 6,492    |
| 12月          | 22,285  | 5,354  | 4,573  | 9,927    |
| 平成26年<br>1 月 | 15,092  | 4,091  | 4,063  | 8,154    |
| 2 月          | 9,099   | 2,343  | 1,523  | 3,866    |
| 3 月          | 17,928  | 4,376  | 4,726  | 9,102    |
| 合 計          | 212,469 | 65,424 | 59,366 | 124,790  |

### <参考>

(単位:人)

| 年度別   | 展望ロビー     | 宇宙劇場    | 展示ゾーン   | 科学館入館者集計  |
|-------|-----------|---------|---------|-----------|
| 平成13年 | 361,887   | 67,640  | 68,698  | 136,338   |
| 平成14年 | 347,141   | 89,952  | 86,734  | 176,686   |
| 平成15年 | 305,314   | 79,136  | 78,487  | 157,623   |
| 平成16年 | 278,734   | 67,620  | 68,413  | 136,033   |
| 平成17年 | 257,694   | 69,388  | 63,546  | 132,934   |
| 平成18年 | 251,195   | 66,122  | 69,059  | 135,181   |
| 平成19年 | 267,202   | 71,209  | 75,619  | 146,828   |
| 平成20年 | 251,876   | 71,607  | 73,131  | 144,738   |
| 平成21年 | 246,237   | 74,607  | 72,371  | 146,978   |
| 平成22年 | 241,634   | 72,704  | 73,194  | 145,898   |
| 平成23年 | 235,383   | 56,689  | 89,070  | 145,759   |
| 平成24年 | 230,669   | 74,525  | 67,179  | 141,704   |
| 平成25年 | 212,469   | 65,424  | 59,366  | 124,790   |
| 合 計   | 3,487,435 | 926,623 | 944,867 | 1,871,490 |

## 平成21年度から平成24年度までの入館者の変遷

### 平成21年度

(単位:人)

| 月 別         | 展望ロビー   | 宇宙劇場   | 展示ゾーン  | 科学館入館者集計 |
|-------------|---------|--------|--------|----------|
| 平成21年<br>4月 | 14,906  | 2,475  | 3,481  | 5,956    |
| 5月          | 20,111  | 5,116  | 6,780  | 11,896   |
| 6月          | 18,223  | 6,771  | 5,330  | 12,101   |
| 7月          | 31,609  | 12,684 | 11,158 | 23,842   |
| 8月          | 37,526  | 14,830 | 12,827 | 27,657   |
| 9月          | 19,541  | 6,284  | 5,997  | 12,281   |
| 10月         | 16,589  | 4,060  | 5,542  | 9,602    |
| 11月         | 14,663  | 3,075  | 2,888  | 5,963    |
| 12月         | 19,793  | 4,723  | 3,723  | 8,446    |
| 平成22年<br>1月 | 17,363  | 5,212  | 4,900  | 10,112   |
| 2月          | 12,912  | 2,750  | 2,944  | 5,694    |
| 3月          | 23,001  | 6,627  | 6,801  | 13,428   |
| 合 計         | 246,237 | 74,607 | 72,371 | 146,978  |

### 平成22年度

(単位:人)

| 月 別         | 展望ロビー   | 宇宙劇場   | 展示ゾーン  | 科学館入館者集計 |
|-------------|---------|--------|--------|----------|
| 平成22年<br>4月 | 16,106  | 3,377  | 4,452  | 7,829    |
| 5月          | 19,254  | 4,098  | 5,795  | 9,893    |
| 6月          | 17,565  | 7,061  | 6,477  | 13,538   |
| 7月          | 30,755  | 12,245 | 9,373  | 21,618   |
| 8月          | 41,499  | 15,292 | 13,522 | 28,814   |
| 9月          | 18,094  | 6,238  | 6,231  | 12,469   |
| 10月         | 19,998  | 4,979  | 7,332  | 12,311   |
| 11月         | 15,404  | 3,331  | 3,682  | 7,013    |
| 12月         | 25,824  | 6,924  | 6,432  | 13,356   |
| 平成23年<br>1月 | 19,052  | 4,832  | 6,034  | 10,866   |
| 2月          | 13,609  | 3,573  | 3,148  | 6,721    |
| 3月          | 4,474   | 754    | 716    | 1,470    |
| 合 計         | 241,634 | 72,704 | 73,194 | 145,898  |

平成23年度

(単位:人)

| 月 別          | 展望ロビー   | 宇宙劇場   | 展示ゾーン  | 科学館入館者集計 |
|--------------|---------|--------|--------|----------|
| 平成23年<br>4 月 | 1,686   | 349    | 587    | 936      |
| 5 月          | 15,203  | 3,222  | 4,299  | 7,521    |
| 6 月          | 13,192  | 3,644  | 3,805  | 7,449    |
| 7 月          | 35,496  | 13,130 | 10,809 | 23,939   |
| 8 月          | 29,937  | 10,011 | 12,260 | 22,271   |
| 9 月          | 17,240  | 6,083  | 6,217  | 12,300   |
| 10月          | 25,411  | 6,095  | 17,730 | 23,825   |
| 11月          | 11,769  | 4,436  | 4,445  | 8,881    |
| 12月          | 21,017  | 5,563  | 10,291 | 15,854   |
| 平成24年<br>1 月 | 19,714  | 4,156  | 11,978 | 16,134   |
| 2 月          | 16,388  | 0      | 2,250  | 2,250    |
| 3 月          | 28,330  | 0      | 4,399  | 4,399    |
| 合 計          | 235,383 | 56,689 | 89,070 | 145,759  |

平成24年度

(単位:人)

| 月 別          | 展望ロビー   | 宇宙劇場   | 展示ゾーン  | 科学館入館者集計 |
|--------------|---------|--------|--------|----------|
| 平成24年<br>4 月 | 15,475  | 1,645  | 4,069  | 5,714    |
| 5 月          | 22,466  | 8,385  | 6,692  | 15,077   |
| 6 月          | 16,866  | 6,832  | 6,236  | 13,068   |
| 7 月          | 24,323  | 10,741 | 7,283  | 18,024   |
| 8 月          | 33,552  | 14,923 | 10,441 | 25,364   |
| 9 月          | 17,459  | 6,706  | 6,365  | 13,071   |
| 10月          | 15,856  | 4,211  | 4,551  | 8,762    |
| 11月          | 13,724  | 3,558  | 3,350  | 6,908    |
| 12月          | 22,325  | 4,612  | 5,513  | 10,125   |
| 平成25年<br>1 月 | 16,220  | 4,361  | 4,866  | 9,227    |
| 2 月          | 12,760  | 3,547  | 2,651  | 6,198    |
| 3 月          | 19,643  | 5,004  | 5,162  | 10,166   |
| 合 計          | 230,669 | 74,525 | 67,179 | 141,704  |

## 2 施設別入館者状況

### 宇宙劇場

(単位:人)

| 月   | 平日  |        |      |        |      | 土曜・日曜・祝日 |        |      |       |      | 合計  |        |      |        |      |
|-----|-----|--------|------|--------|------|----------|--------|------|-------|------|-----|--------|------|--------|------|
|     | 日数  | 個人     | 1日平均 | 団体     | 1日平均 | 日数       | 個人     | 1日平均 | 団体    | 1日平均 | 日数  | 個人     | 1日平均 | 団体     | 1日平均 |
| 4月  | 17  | 1,067  | 63   | 25     | 1    | 9        | 1,639  | 182  | 75    | 8    | 26  | 2,706  | 104  | 100    | 4    |
| 5月  | 16  | 492    | 31   | 811    | 51   | 10       | 2,794  | 279  | 0     | 0    | 26  | 3,286  | 126  | 811    | 31   |
| 6月  | 16  | 785    | 49   | 3,724  | 233  | 10       | 1,783  | 178  | 400   | 40   | 26  | 2,568  | 99   | 4,124  | 159  |
| 7月  | 19  | 2,474  | 130  | 2,541  | 134  | 9        | 3,555  | 395  | 797   | 89   | 28  | 6,029  | 215  | 3,338  | 119  |
| 8月  | 21  | 7,156  | 341  | 834    | 40   | 9        | 4,595  | 511  | 0     | 0    | 30  | 11,751 | 392  | 834    | 28   |
| 9月  | 14  | 827    | 59   | 2,601  | 186  | 11       | 2,212  | 201  | 107   | 10   | 25  | 3,039  | 122  | 2,708  | 108  |
| 10月 | 17  | 669    | 39   | 2,087  | 123  | 9        | 1,543  | 171  | 91    | 10   | 26  | 2,212  | 85   | 2,178  | 84   |
| 11月 | 16  | 588    | 37   | 857    | 54   | 10       | 1,920  | 192  | 211   | 21   | 26  | 2,508  | 96   | 1,068  | 41   |
| 12月 | 17  | 1,656  | 97   | 408    | 24   | 10       | 3,207  | 321  | 83    | 8    | 27  | 4,863  | 180  | 491    | 18   |
| 1月  | 14  | 1,313  | 94   | 293    | 21   | 9        | 2,459  | 273  | 26    | 3    | 23  | 3,772  | 164  | 319    | 14   |
| 2月  | 15  | 563    | 38   | 229    | 15   | 9        | 1,551  | 172  | 0     | 0    | 24  | 2,114  | 88   | 229    | 10   |
| 3月  | 18  | 1,449  | 81   | 248    | 14   | 10       | 2,561  | 256  | 118   | 12   | 28  | 4,010  | 143  | 366    | 13   |
| 合計  | 200 | 19,039 | 95   | 14,658 | 73   | 115      | 29,819 | 259  | 1,908 | 17   | 315 | 48,858 | 155  | 16,566 | 53   |

### 展示ゾーン

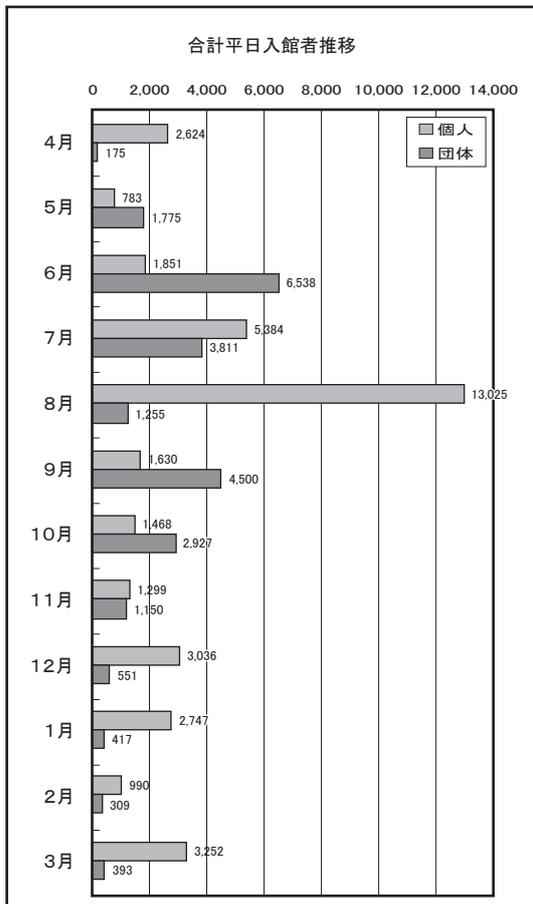
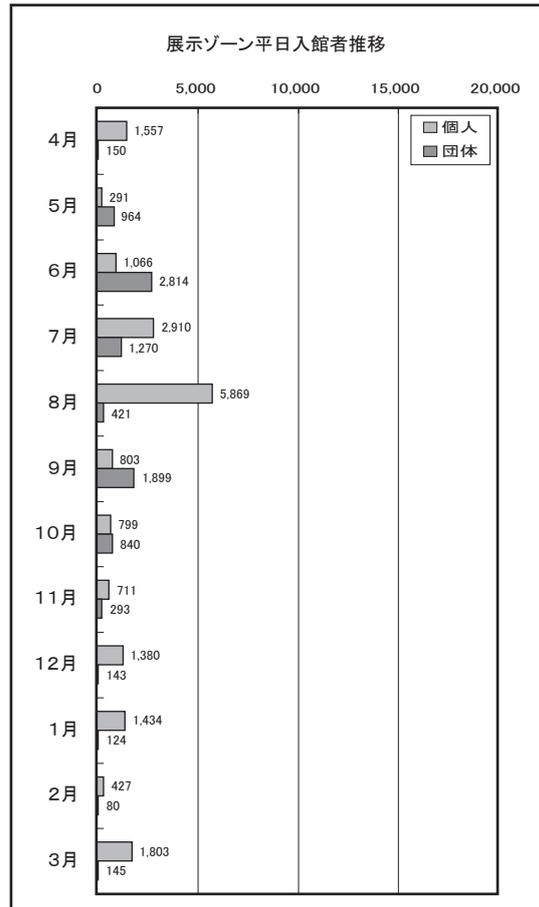
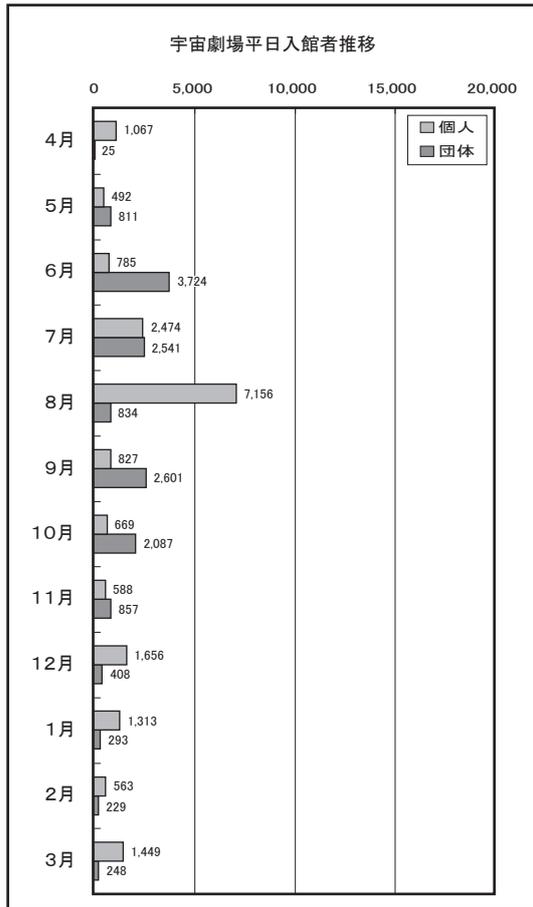
(単位:人)

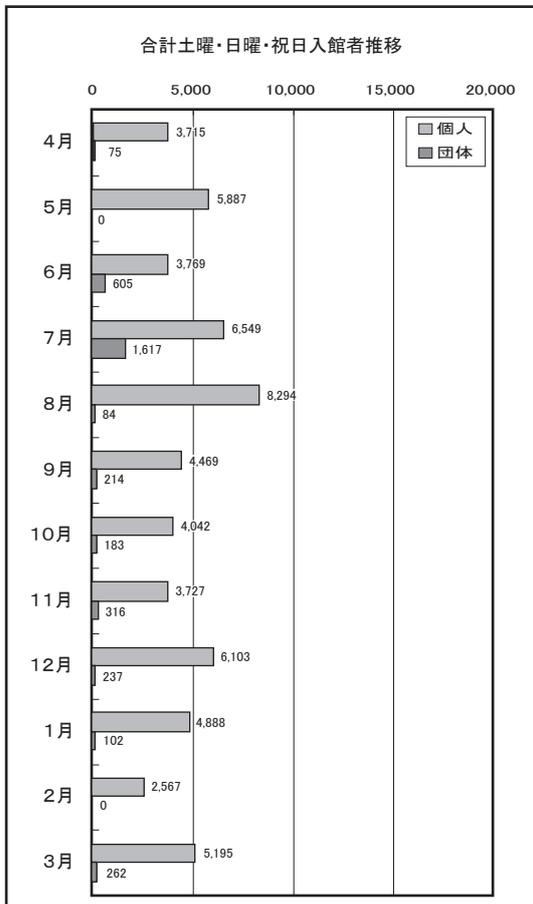
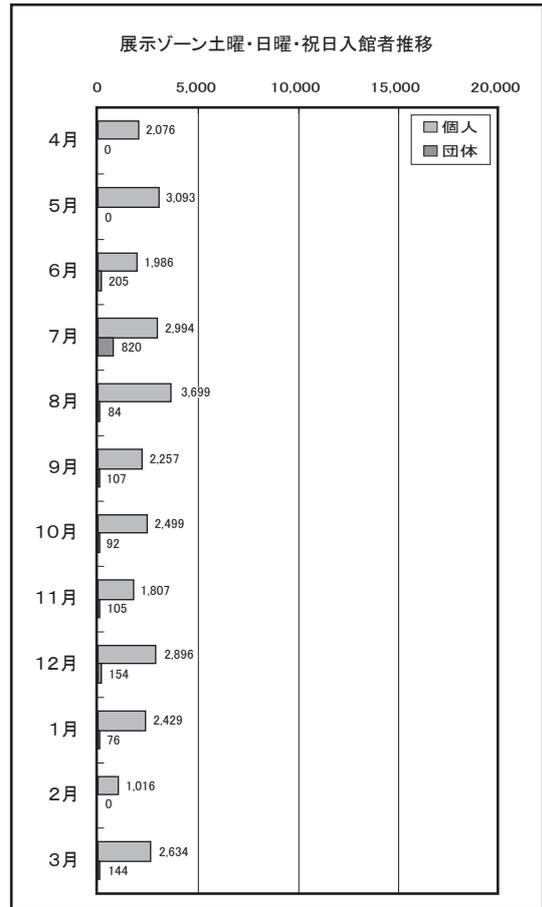
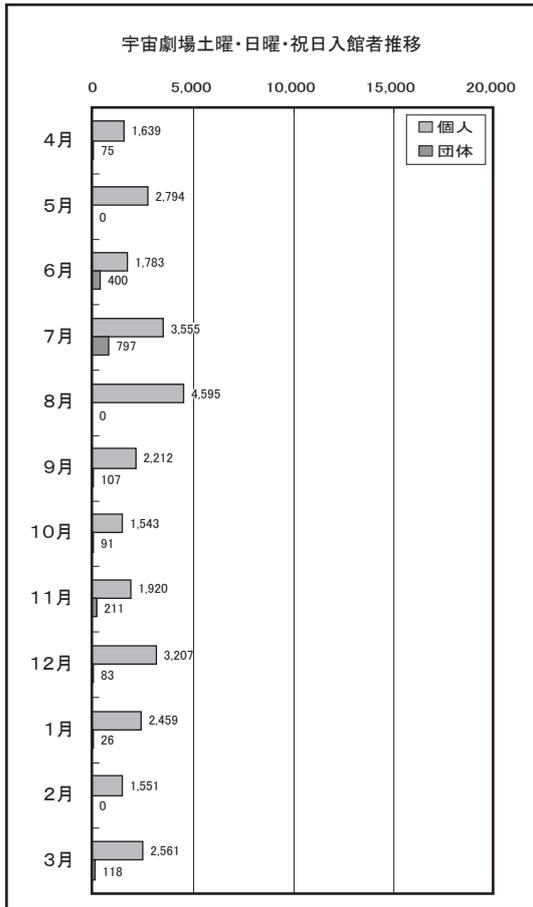
| 月   | 平日  |        |      |       |      | 土曜・日曜・祝日 |        |      |       |      | 合計  |        |      |        |      |
|-----|-----|--------|------|-------|------|----------|--------|------|-------|------|-----|--------|------|--------|------|
|     | 日数  | 個人     | 1日平均 | 団体    | 1日平均 | 日数       | 個人     | 1日平均 | 団体    | 1日平均 | 日数  | 個人     | 1日平均 | 団体     | 1日平均 |
| 4月  | 17  | 1,557  | 92   | 150   | 9    | 9        | 2,076  | 231  | 0     | 0    | 26  | 3,633  | 140  | 150    | 6    |
| 5月  | 16  | 291    | 18   | 964   | 60   | 10       | 3,093  | 309  | 0     | 0    | 26  | 3,384  | 130  | 964    | 37   |
| 6月  | 16  | 1,066  | 67   | 2,814 | 176  | 10       | 1,986  | 199  | 205   | 21   | 26  | 3,052  | 117  | 3,019  | 116  |
| 7月  | 19  | 2,910  | 153  | 1,270 | 67   | 9        | 2,994  | 333  | 820   | 91   | 28  | 5,904  | 211  | 2,090  | 75   |
| 8月  | 21  | 5,869  | 279  | 421   | 20   | 9        | 3,699  | 411  | 84    | 9    | 30  | 9,568  | 319  | 505    | 17   |
| 9月  | 14  | 803    | 57   | 1,899 | 136  | 11       | 2,257  | 205  | 107   | 10   | 25  | 3,060  | 122  | 2,006  | 80   |
| 10月 | 17  | 799    | 47   | 840   | 49   | 9        | 2,499  | 278  | 92    | 10   | 26  | 3,298  | 127  | 932    | 36   |
| 11月 | 16  | 711    | 44   | 293   | 18   | 10       | 1,807  | 181  | 105   | 11   | 26  | 2,518  | 97   | 398    | 15   |
| 12月 | 17  | 1,380  | 81   | 143   | 8    | 10       | 2,896  | 290  | 154   | 15   | 27  | 4,276  | 158  | 297    | 11   |
| 1月  | 14  | 1,434  | 102  | 124   | 9    | 9        | 2,429  | 270  | 76    | 8    | 23  | 3,863  | 168  | 200    | 9    |
| 2月  | 15  | 427    | 28   | 80    | 5    | 9        | 1,016  | 113  | 0     | 0    | 24  | 1,443  | 60   | 80     | 3    |
| 3月  | 18  | 1,803  | 100  | 145   | 8    | 10       | 2,634  | 263  | 144   | 14   | 28  | 4,437  | 158  | 289    | 10   |
| 合計  | 200 | 19,050 | 95   | 9,143 | 46   | 115      | 29,386 | 256  | 1,787 | 16   | 315 | 48,436 | 154  | 10,930 | 35   |

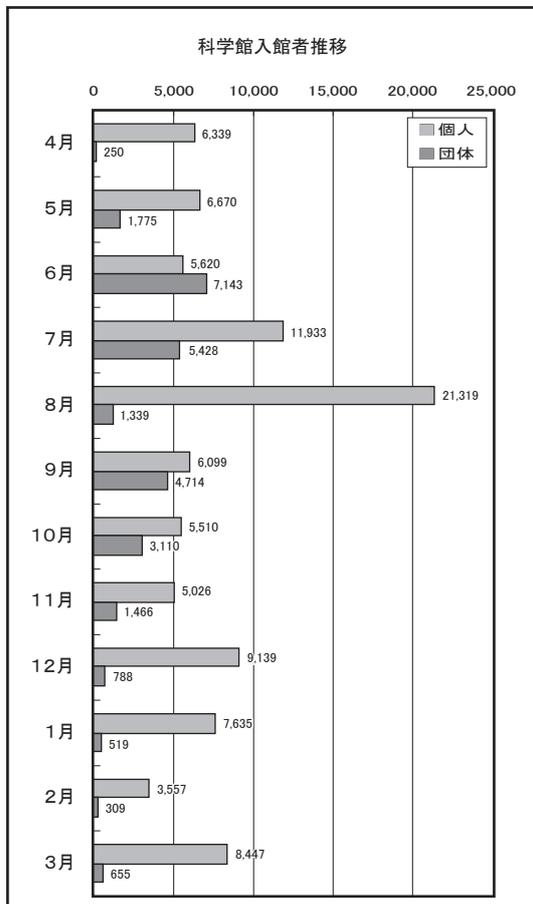
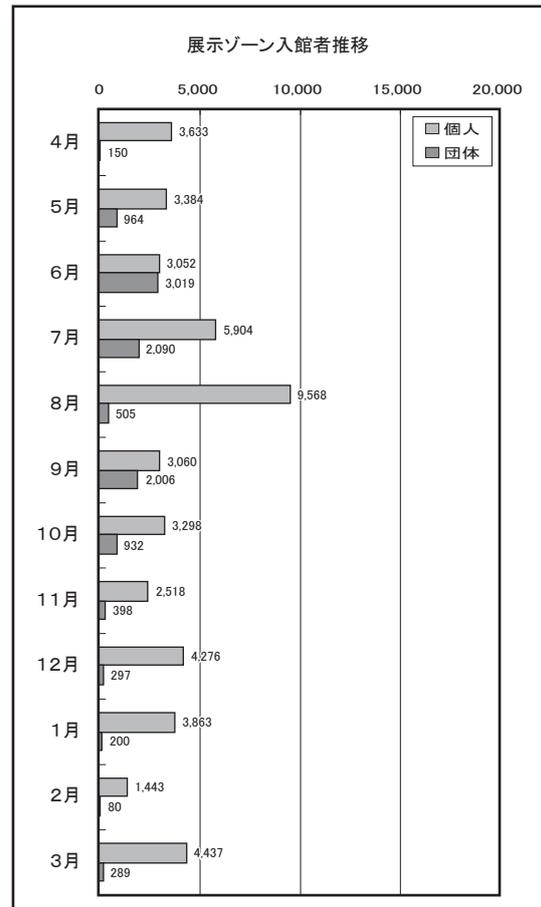
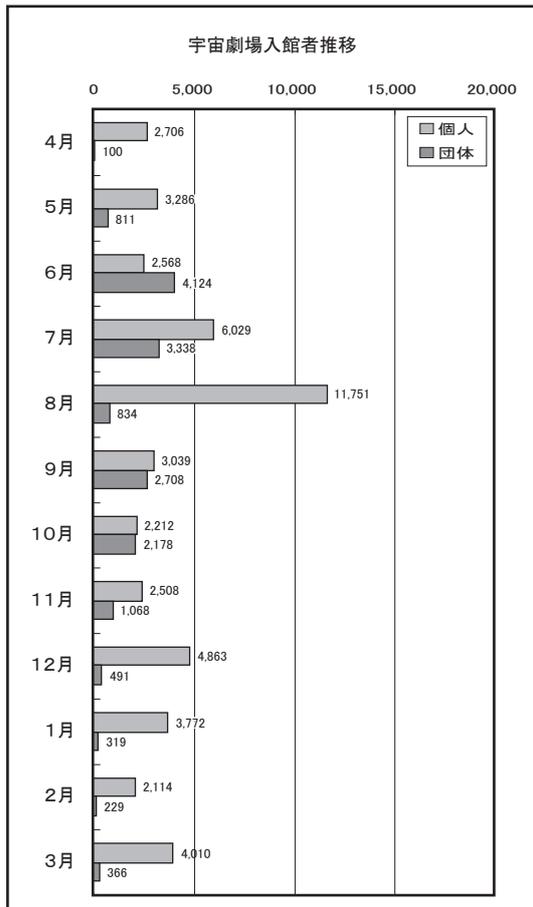
### 合計

(単位:人)

| 月   | 平日  |        |      |        |      | 土曜・日曜・祝日 |        |      |       |      | 合計  |        |      |        |      |
|-----|-----|--------|------|--------|------|----------|--------|------|-------|------|-----|--------|------|--------|------|
|     | 日数  | 個人     | 1日平均 | 団体     | 1日平均 | 日数       | 個人     | 1日平均 | 団体    | 1日平均 | 日数  | 個人     | 1日平均 | 団体     | 1日平均 |
| 4月  | 17  | 2,624  | 154  | 175    | 10   | 9        | 3,715  | 413  | 75    | 8    | 26  | 6,339  | 244  | 250    | 10   |
| 5月  | 16  | 783    | 49   | 1,775  | 111  | 10       | 5,887  | 589  | 0     | 0    | 26  | 6,670  | 257  | 1,775  | 68   |
| 6月  | 16  | 1,851  | 116  | 6,538  | 409  | 10       | 3,769  | 377  | 605   | 61   | 26  | 5,620  | 216  | 7,143  | 275  |
| 7月  | 19  | 5,384  | 283  | 3,811  | 201  | 9        | 6,549  | 728  | 1,617 | 180  | 28  | 11,933 | 426  | 5,428  | 194  |
| 8月  | 21  | 13,025 | 620  | 1,255  | 60   | 9        | 8,294  | 922  | 84    | 9    | 30  | 21,319 | 711  | 1,339  | 45   |
| 9月  | 14  | 1,630  | 116  | 4,500  | 321  | 11       | 4,469  | 406  | 214   | 19   | 25  | 6,099  | 244  | 4,714  | 189  |
| 10月 | 17  | 1,468  | 86   | 2,927  | 172  | 9        | 4,042  | 449  | 183   | 20   | 26  | 5,510  | 212  | 3,110  | 120  |
| 11月 | 16  | 1,299  | 81   | 1,150  | 72   | 10       | 3,727  | 373  | 316   | 32   | 26  | 5,026  | 193  | 1,466  | 56   |
| 12月 | 17  | 3,036  | 179  | 551    | 32   | 10       | 6,103  | 610  | 237   | 24   | 27  | 9,139  | 338  | 788    | 29   |
| 1月  | 14  | 2,747  | 196  | 417    | 30   | 9        | 4,888  | 543  | 102   | 11   | 23  | 7,635  | 332  | 519    | 23   |
| 2月  | 15  | 990    | 66   | 309    | 21   | 9        | 2,567  | 285  | 0     | 0    | 24  | 3,557  | 148  | 309    | 13   |
| 3月  | 18  | 3,252  | 181  | 393    | 22   | 10       | 5,195  | 520  | 262   | 26   | 28  | 8,447  | 302  | 655    | 23   |
| 合計  | 200 | 38,089 | 190  | 23,801 | 119  | 115      | 59,205 | 515  | 3,695 | 32   | 315 | 97,294 | 309  | 27,496 | 87   |







### 3 宇宙劇場区分別入館者状況

(単位:人)

| 観覧者 | 個人    |        |           |               |               |       | 計      |
|-----|-------|--------|-----------|---------------|---------------|-------|--------|
|     | 幼児    | 小中学生   | 高校<br>大学生 | 一般<br>(65歳未満) | 一般<br>(65歳以上) | その他   |        |
| 4月  | 213   | 684    | 219       | 1,263         | 155           | 172   | 2,706  |
| 5月  | 189   | 730    | 292       | 1,675         | 161           | 239   | 3,286  |
| 6月  | 164   | 467    | 213       | 1,165         | 120           | 439   | 2,568  |
| 7月  | 522   | 1,737  | 412       | 2,701         | 308           | 349   | 6,029  |
| 8月  | 892   | 3,677  | 1,059     | 4,980         | 433           | 710   | 11,751 |
| 9月  | 216   | 611    | 320       | 1,434         | 158           | 300   | 3,039  |
| 10月 | 131   | 386    | 244       | 1,085         | 136           | 230   | 2,212  |
| 11月 | 149   | 470    | 300       | 1,205         | 137           | 247   | 2,508  |
| 12月 | 460   | 1,191  | 622       | 2,126         | 236           | 228   | 4,863  |
| 1月  | 442   | 895    | 305       | 1,708         | 177           | 245   | 3,772  |
| 2月  | 123   | 202    | 406       | 941           | 97            | 345   | 2,114  |
| 3月  | 333   | 723    | 630       | 1,698         | 250           | 376   | 4,010  |
| 合計  | 3,834 | 11,773 | 5,022     | 21,981        | 2,368         | 3,880 | 48,858 |

(単位:人)

| 観覧者 | 団体    |        |           |               |               |     |        | 合計     |
|-----|-------|--------|-----------|---------------|---------------|-----|--------|--------|
|     | 幼児    | 小中学生   | 高校<br>大学生 | 一般<br>(65歳未満) | 一般<br>(65歳以上) | その他 | 計      |        |
| 4月  | 2     | 43     | 35        | 18            | 2             | -   | 100    | 2,806  |
| 5月  | 44    | 693    | 0         | 44            | 30            | -   | 811    | 4,097  |
| 6月  | 994   | 2,613  | 0         | 438           | 79            | -   | 4,124  | 6,692  |
| 7月  | 1,120 | 1,623  | 44        | 537           | 14            | -   | 3,338  | 9,367  |
| 8月  | 2     | 608    | 0         | 118           | 106           | -   | 834    | 12,585 |
| 9月  | 182   | 2,413  | 0         | 113           | 0             | -   | 2,708  | 5,747  |
| 10月 | 571   | 1,355  | 37        | 131           | 84            | -   | 2,178  | 4,390  |
| 11月 | 352   | 571    | 20        | 121           | 4             | -   | 1,068  | 3,576  |
| 12月 | 243   | 193    | 0         | 55            | 0             | -   | 491    | 5,354  |
| 1月  | 157   | 133    | 0         | 29            | 0             | -   | 319    | 4,091  |
| 2月  | 152   | 71     | 0         | 6             | 0             | -   | 229    | 2,343  |
| 3月  | 103   | 263    | 0         | 0             | 0             | -   | 366    | 4,376  |
| 合計  | 3,922 | 10,579 | 136       | 1,610         | 319           | -   | 16,566 | 65,424 |

(単位:団体)

| 団体区分 | 幼児 | 小中学生 | 高校<br>大学生 | 一般<br>(65歳未満) | 一般<br>(65歳以上) | その他 | 計   |
|------|----|------|-----------|---------------|---------------|-----|-----|
| 4月   | 0  | 1    | 1         | 0             | 0             | 1   | 3   |
| 5月   | 1  | 12   | 0         | 0             | 0             | 1   | 14  |
| 6月   | 17 | 45   | 0         | 1             | 2             | 11  | 76  |
| 7月   | 24 | 18   | 1         | 0             | 0             | 17  | 60  |
| 8月   | 0  | 9    | 0         | 0             | 0             | 11  | 20  |
| 9月   | 4  | 35   | 0         | 0             | 0             | 5   | 44  |
| 10月  | 10 | 21   | 1         | 0             | 1             | 3   | 36  |
| 11月  | 9  | 11   | 1         | 0             | 0             | 4   | 25  |
| 12月  | 4  | 1    | 0         | 0             | 0             | 5   | 10  |
| 1月   | 2  | 1    | 0         | 0             | 0             | 2   | 5   |
| 2月   | 3  | 3    | 0         | 0             | 0             | 0   | 6   |
| 3月   | 1  | 2    | 0         | 0             | 0             | 2   | 5   |
| 合計   | 75 | 159  | 4         | 1             | 3             | 62  | 304 |

#### 4 展示ゾーン区分別入館者状況

(単位:人)

| 観覧者 | 個人     |           |               |        | 計      |
|-----|--------|-----------|---------------|--------|--------|
|     | 小中学生   | 高校<br>大学生 | 一般<br>(65歳未満) | その他    |        |
| 4月  | 1,343  | 56        | 1,394         | 840    | 3,633  |
| 5月  | 1,051  | 93        | 1,413         | 827    | 3,384  |
| 6月  | 680    | 52        | 910           | 1,410  | 3,052  |
| 7月  | 1,695  | 88        | 2,011         | 2,110  | 5,904  |
| 8月  | 3,494  | 274       | 3,748         | 2,052  | 9,568  |
| 9月  | 879    | 108       | 1,130         | 943    | 3,060  |
| 10月 | 746    | 84        | 1,302         | 1,166  | 3,298  |
| 11月 | 652    | 46        | 863           | 957    | 2,518  |
| 12月 | 1,482  | 122       | 1,615         | 1,057  | 4,276  |
| 1月  | 1,291  | 81        | 1,470         | 1,021  | 3,863  |
| 2月  | 312    | 57        | 508           | 566    | 1,443  |
| 3月  | 1,401  | 173       | 1,572         | 1,291  | 4,437  |
| 合計  | 15,026 | 1,234     | 17,936        | 14,240 | 48,436 |

(単位:人)

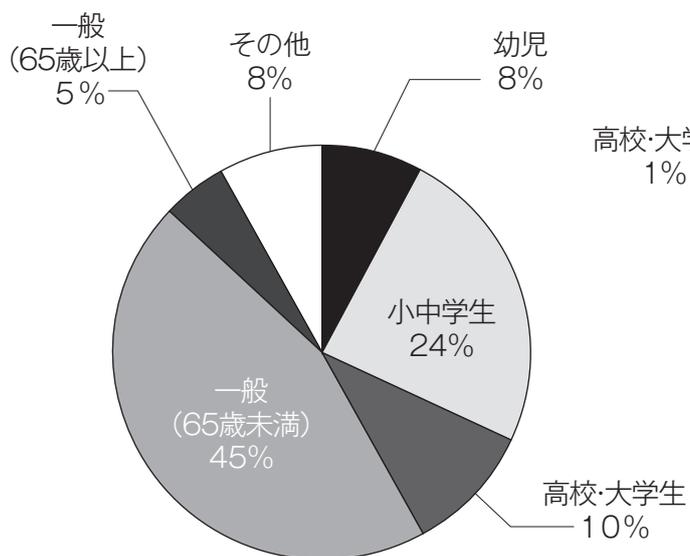
| 観覧者 | 団体    |           |               |        | 合計     |
|-----|-------|-----------|---------------|--------|--------|
|     | 小中学生  | 高校<br>大学生 | 一般<br>(65歳未満) | 計      |        |
| 4月  | 150   | 0         | 0             | 150    | 3,783  |
| 5月  | 895   | 1         | 68            | 964    | 4,348  |
| 6月  | 2,733 | 0         | 286           | 3,019  | 6,071  |
| 7月  | 1,692 | 7         | 391           | 2,090  | 7,994  |
| 8月  | 390   | 0         | 115           | 505    | 10,073 |
| 9月  | 1,894 | 21        | 91            | 2,006  | 5,066  |
| 10月 | 881   | 0         | 51            | 932    | 4,230  |
| 11月 | 346   | 0         | 52            | 398    | 2,916  |
| 12月 | 227   | 0         | 70            | 297    | 4,573  |
| 1月  | 168   | 0         | 32            | 200    | 4,063  |
| 2月  | 74    | 6         | 0             | 80     | 1,523  |
| 3月  | 287   | 0         | 2             | 289    | 4,726  |
| 合計  | 9,737 | 35        | 1,158         | 10,930 | 59,366 |

(単位:団体)

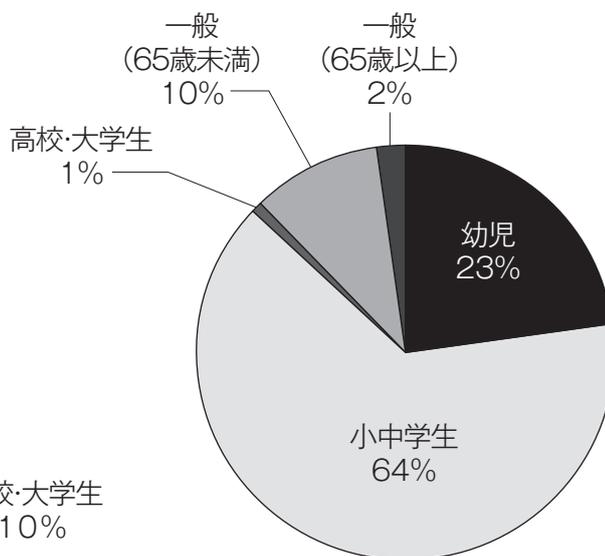
| 団体区分 | 小中学生 | 高校<br>大学生 | 一般<br>(65歳未満) | その他 | 計   |
|------|------|-----------|---------------|-----|-----|
| 4月   | 3    | 0         | 0             | 0   | 3   |
| 5月   | 15   | 0         | 0             | 2   | 17  |
| 6月   | 47   | 0         | 0             | 7   | 54  |
| 7月   | 19   | 0         | 0             | 20  | 39  |
| 8月   | 31   | 1         | 0             | 5   | 37  |
| 9月   | 31   | 1         | 0             | 5   | 37  |
| 10月  | 16   | 0         | 0             | 1   | 17  |
| 11月  | 9    | 0         | 0             | 3   | 12  |
| 12月  | 0    | 0         | 0             | 8   | 8   |
| 1月   | 2    | 0         | 0             | 2   | 4   |
| 2月   | 2    | 0         | 0             | 1   | 3   |
| 3月   | 2    | 0         | 0             | 3   | 5   |
| 合計   | 177  | 2         | 0             | 57  | 236 |

## 宇宙劇場区分別入館者状況

### 個人入館者数分類

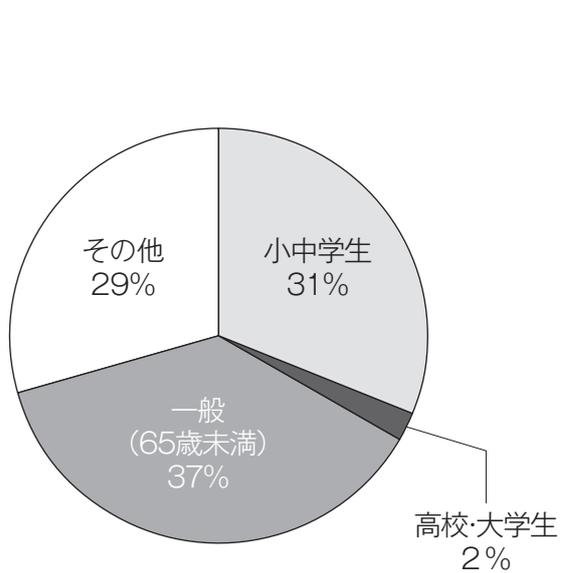


### 団体入館者数分類

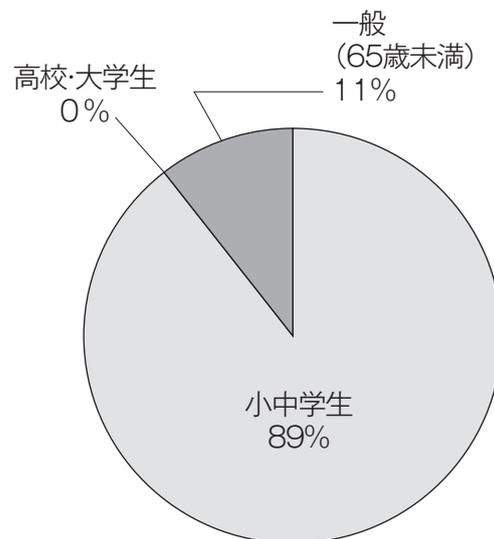


## 展示ゾーン区分別入館者状況

### 個人入館者数分類



### 団体入館者数分類



## 【平成25年度施設利用状況の結果分析】

### 1 月別入館者

☆有料ゾーン入館者数（平成25年度目標入館者数:141,332人）

○平成25年度：124,790人（前年度：141,704人）

○前年度比：11.9%減（16,914人減）

○目標比：11.7%減（16,542人減）

☆展望ロビー入館者数

○平成25年度：212,469人（前年度：230,669人）

○前年度比：約7.9%減（18,200人減）

☆月別平均入館者数

○有料ゾーン：10,399人（前年度：11,809人）

○展望ロビー：17,706人（前年度：19,222人）

○展望ロビーから有料ゾーンへの入館率：約58.7%(前年度比：-2.7% ※前年度：約61.4%)

☆有料ゾーン月別入館者割合

| 4月   | 5月   | 6月    | 7月    | 8月    | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   |
|------|------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 5.3% | 6.8% | 10.2% | 13.9% | 18.2% | 8.7% | 6.9% | 5.2% | 8.0% | 6.5% | 3.1% | 7.3% |

☆有料ゾーン月別入館者前年度比

| 4月     | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 115.3% | 56.0% | 97.7% | 96.3% | 89.3% | 82.7% | 98.4% | 94.0% | 98.0% | 88.4% | 62.4% | 89.5% |

### 2 施設別(宇宙劇場／展示ゾーン)入館者

☆宇宙劇場入館者数(前年度：74,525人)

○平成25年度：65,424人 ○前年度比：約12.2%減

☆展示ゾーン入館者数(前年度：67,179人)

○平成25年度：59,366人 ○前年度比：約11.6%減

### 3 来館形態別(個人／団体)入館者

☆個人利用者数(前年度：112,367人)

○平成25年度：97,294人 ○前年度比：13.4%減

☆団体利用者数(前年度：29,337人)

○平成25年度：27,496人 ○前年度比：6.3%減

☆来館形態比

○個人：約78.0%(前年度：約79.3%) ○団体：約22.0%(前年度：約20.7%)

☆利用傾向(平日／土・日・祝)

○平日：約49.6%(前年度：約44.9%) ○土・日・祝：約50.4%(前年度：約55.1%)

### 4 区分別(幼児／小・中学生／高校・大学生／一般)入館者

☆宇宙劇場区分別入館者数(割合 ※総数：65,424人)

○幼児：7,756人(約11.9%) ○小・中学生：22,352人(約34.2%)

内訳＝個人：3,834人 団体：3,922人 内訳＝個人：11,773人 団体：10,579人

○高校・大学生：5,158人(約7.9%) ○一般(65歳未満)：23,591人(約36.1%)

内訳＝個人：5,022人 団体：136人 内訳＝個人：21,981人 団体：1,610人

○一般(65歳以上)：2,687人(約4.1%) ○その他(障がい者など)：3,880人(約5.9%)

内訳＝個人：2,368人 団体：319人 内訳＝個人：3,880人 団体：0人

☆展示ゾーン区分別入館者数(割合 ※総数：59,366人)

○小・中学生：24,763人(約41.7%)      ○高校・大学生：1,269人(約 2.1%)

内訳＝個人：15,026人 団体：9,737人      内訳＝個人：1,234人 団体：35人

○一般(65歳未満)：19,094人(約32.2%)      ○その他(幼児、障がい者など)：14,240人(約24.0%)

内訳＝個人：17,936人 団体：1,158人      内訳＝個人：14,240人 団体：0人

有料ゾーン(宇宙劇場、展示ゾーン)の入館者を区分別に見た場合、例年どおり、個人利用では「一般(65歳未満)」、団体利用では「小・中学生」の利用が最も多い結果となりました。

宇宙劇場と展示ゾーンの個人と団体を含めた全体では、「小・中学生」が最も多く約37.8%、次いで「一般(65歳未満)」約34.2%と、例年どおり小中学生がやや多い結果となりました。

## 5 総括

施設利用状況は、平成24年度に比べ観覧者合計が124,790人で12%の減少、宇宙劇場及び展示ゾーンの施設利用料金収入額合計が23,777,580円で12%の減少、展望ロビーにおける施設利用料金が1,146,600円で8.7%の減少となりました。

これは、平成24年度は、原発被害の影響がありながらもプラネタリウムのリニューアル効果により入館者が大きく落ち込まず、加えてこの年には金環日食などの広く注目を集める天文現象があったおかげで宇宙劇場を中心に入館者を震災前の水準程度に維持することができましたが、平成25年度にはプラネタリウムのリニューアル効果も落ち着くとともに、アイソン彗星が途中で消滅するなど大きな話題を集める天文現象が少なく、入館者数の増加にまで結びつかなかったこと、夏のドーム映像や冬の企画展で思ったほど入館者が得られなかったこと、年が明けてからのイベントの際に大雪の悪天候に見まわれたことなどにより原発事故の影響による入館者の減少を食い止めることができなかったことによるものです。

## Ⅵ その他

### 1 条例・規則

#### (1) 条例

##### ○郡山市ふれあい科学館条例

平成13年3月23日

郡山市条例第33号

##### (設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号。以下「法」という。)第244条第1項の規定に基づき、市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与するため、郡山市ふれあい科学館(以下「科学館」という。)を設置する。

##### (名称及び位置)

第2条 科学館の名称及び位置は、次のとおりとする。

| 名 称        | 位 置           |
|------------|---------------|
| 郡山市ふれあい科学館 | 郡山市駅前二丁目11番1号 |

##### (管理)

第3条 科学館は、郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)がこれを管理する。

##### (事業)

第4条 科学館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 科学技術に関する資料及び装置を展示し、並びに利用に供すること。
- (2) プラネタリウムその他の投影装置による天体運行等の投影を行うこと。
- (3) 科学技術及び天文等に関する講習会、講演会等を開催すること。
- (4) 科学技術に関する調査研究を行い、及び科学情報等を提供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、設置の目的を達成するために必要な事業

##### (開館時間)

第5条 科学館の開館時間は、午前10時から午後5時45分(入館は、午後5時)までとする。ただし、科学館の展望ロビーの開館時間は、午前10時から午後8時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたときは、同項に規定する開館時間を臨時に変更することができる。

##### (休館日)

第6条 科学館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、展望ロビーは、教育委員会が特に支障がないと認めるときは、科学館の休館日に入館することができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたる場合は、その翌日とする。)
- (2) 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日までの日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたときは、同項に規定する休館日を臨時に変更し、又は臨時に設けることができる。

##### (観覧料等)

第7条 科学館の常設展示室又は宇宙劇場に入場し、展示物又は天体運行等の映像を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納入しなければならない。

2 科学館の附属設備等を使用しようとする者は、別表第2に定める使用料を納入しなければならない。

### **(観覧料の免除)**

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として観覧するとき。
- (2) その他市長が特に観覧料を免除する必要があると認めるとき。

### **(観覧料等の不返還)**

第9条 既納の観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は使用をしようとする者の責めによらない理由により観覧又は使用ができなくなったとき。
- (2) その他教育委員会が特別の理由があると認めたとき。

### **(利用の制限)**

第10条 教育委員会(第12条の規定により指定管理者(法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に管理を行わせる場合にあつては、指定管理者)は、科学館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公益を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 科学館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、若しくは滅失したとき又はこれらのおそれがあるとき。
- (3) この条例又はこれに基づく規則に違反したとき又はそのおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、管理運営上適当でない行為をしたとき又はそのおそれがあるとき。

### **(入館者の賠償責任)**

第11条 科学館に入館した者は施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し、又は免除することができる。

### **(管理の代行)**

第12条 教育委員会は、科学館の管理について、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第4条に規定する事業の実施に関する業務
- (2) 第10条に規定する利用の制限に関する業務
- (3) 第19条に規定する利用料金に関する業務
- (4) 施設、設備、資料等の維持管理に関する業務

### **(指定管理者の募集の公告等)**

第13条 教育委員会は、前条の規定により指定管理者に科学館の管理を行わせようとするときは、あらかじめ規則で定める事項を公告するものとする。ただし、指名する法人その他の団体又は指名する複数の団体のうちから選定したものを指定管理者として指定しようとする場合は、この限りでない。

### **(指定管理者の申請)**

第14条 指定管理者の指定を受けようとする団体は、規則で定めるところにより、申請書に科学館の管理の実施に関する計画書(以下「事業計画書」という。)等を添付して教育委員会に申請しなければならない。

2 指定管理者の指定を受けることができる団体は、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当する

団体とする。ただし、法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、前条の規定による公告又は指名の日において、当該取消しの日の翌日から起算して2年を経過していなければならない。

- (1) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4に規定する者に該当しないこと。
- (2) 会社更生法(平成14年法律第154号)、民事再生法(平成11年法律第225号)等による更生手続又は再生手続を行っていないこと。
- (3) 郡山市税を滞納していないこと。
- (4) その他規則で定める要件

#### **(指定管理者の選定)**

第15条 教育委員会は、前条第1項の規定による申請があつたときは、事業計画書等の内容を次に掲げる基準により審査し、科学館の管理を行うことについて適当と認める団体を、指定管理者の候補となる団体に選定するものとする。

- (1) 科学館における市民の平等な利用を確保できるものであること。
- (2) 科学館の効用を最大限に発揮できるものであること。
- (3) 科学館の管理に係る経費の節減を図ることができるものであること。
- (4) 科学館の管理を安定して行うために必要な人的能力、物的能力その他の経営上の基盤を有していること。
- (5) 申請した団体が科学館の管理に伴い作成し、又は取得した個人情報の保護のための適切な措置を講じることができるものであること。
- (6) その他教育委員会が科学館の設置の目的を効果的に達成するために必要があると認めて定める基準

2 教育委員会は、前項の規定により選定をしたときは、速やかにその結果を前条第1項の規定により申請した団体に通知しなければならない。

#### **(指定管理者の指定)**

第16条 教育委員会は、前条第1項の規定により選定した指定管理者の候補となる団体について、議会の議決を経たときは、当該団体を指定管理者に指定するものとする。

2 教育委員会は、前項の規定により指定管理者を指定する場合において、科学館の管理運営上必要な条件を付することができる。

#### **(協定の締結)**

第17条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間の開始前に、科学館の管理に関し、規則で定める事項について教育委員会と協定を締結しなければならない。

#### **(事業報告書の提出)**

第18条 法第244条の2第7項の規定による事業報告書の提出は、毎年度終了後60日(同条第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、その取り消された日の翌日から起算して60日)以内にしなければならない。

#### **(利用料金)**

第19条 観覧又は使用をしようとする者は、指定管理者に対し、科学館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を納入しなければならない。この場合において、第7条の規定は適用しない。

- 2 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。
- 3 利用料金の額は、観覧料等の額の範囲内において、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得てそれぞれ定める。
- 4 指定管理者は、前項の規定により観覧料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、

第8条の規定、郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成11年郡山市条例第24号)の規定及びこれらの規定に基づく規則の規定並びに第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の免除及び返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料」又は「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」又は「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

5 指定管理者は、第3項の規定により使用料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

6 指定管理者は、第3項の規定により利用料金の額を定めたときは、利用料金を当該指定管理者の収入として収受する旨及びその額又は算出方法等について科学館に入館する者の見やすい方法により公表しなければならない。

#### **(指定等の公告)**

第20条 教育委員会は、次に掲げるときは、その旨を公告しなければならない。

- (1) 第16条第1項の規定により指定管理者を指定したとき。
- (2) 前条第3項の規定により利用料金の額を承認したとき。
- (3) 法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。
- (4) 前3号の規定により公告した事項に変更があったとき。

#### **(開館時間等の変更)**

第21条 指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、第5条に規定する開館時間を臨時に変更し、又は第6条に規定する休館日を臨時に変更し、若しくは臨時に設けることができる。

#### **(事業計画書等の内容の変更等)**

第22条 指定管理者は、第14条第1項の規定により提出した事業計画書その他規則で定める書類の内容について変更しようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。ただし、規則で定める軽微な事項を変更しようとするときは、この限りでない。

2 指定管理者は、前項ただし書に規定する軽微な事項を変更したときは、教育委員会にその旨を届け出なければならない。

#### **(秘密保持義務)**

第23条 指定管理者による管理の業務に従事している者又は従事していた者は、科学館の管理の業務に関して知り得た秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

#### **(指定管理者の原状回復義務)**

第24条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間が満了したとき又は法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、直ちに施設、設備、資料等を原状に回復し、教育委員会に引き渡さなければならない。ただし、教育委員会の承認を得たときは、この限りでない。

#### **(指定管理者の賠償責任)**

第25条 指定管理者は、施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、教育委員会が相当の理由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

#### **(委任)**

第26条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成13年6月1日教委規則第11号で平成13年10月1日から施行)

(郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例の一部改正)

- 2 郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成11年郡山市条例第24号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

附 則(平成15年郡山市条例第26号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年郡山市条例第68号)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

- 2 この条例の施行の際現に改正前の第10条の規定により委託している郡山市ふれあい科学館の管理及び運営は、改正後の第16条第1項の規定により指定された指定管理者の指定の期間が開始する日までの間は、なお従前の例による。

\*別表以下省略

(2) 規則

○郡山市ふれあい科学館条例施行規則

平成13年6月1日

郡山市教育委員会規則第12号

(趣旨)

第1条 この規則は、郡山市ふれあい科学館条例(平成13年郡山市条例第33号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付)

第2条 郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。条例第16条第1項の規定により指定された指定管理者の指定の期間中にある場合は、指定管理者)は、条例第7条第1項の規定により観覧料(指定管理者の指定の期間中にある場合は、条例第19条第1項に規定する利用料金)を納入した者に対して郡山市ふれあい科学館観覧券(第1号様式)を交付する。

(観覧料の免除)

第3条 条例第8条の規定により免除することができる観覧料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第8条第1号に規定する場合 当該観覧料の全額  
(2) 条例第8条第2号に規定する場合 教育委員会が認める額

- 2 前項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市ふれあい科学館観覧料免除申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(観覧料等の返還)

第4条 条例第9条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第9条第1号に規定する場合 当該観覧料等の全額  
(2) 条例第9条第2号に規定する場合 教育委員会が認める額

- 2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市ふれあい科学館観覧料等返還請求書(第3号様式)を、教育委員会に提出しなければならない。

### (遵守事項)

第5条 郡山市ふれあい科学館(以下「科学館」という。)において、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 他に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。
- (3) 風紀及び秩序を乱さないこと。
- (4) その他職員の指示に従うこと。

### (募集時の公告事項等)

第6条 条例第13条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 名称、所在地、構造、規模等の科学館の概要
- (2) 指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の期間
- (4) 利用料金に関する事項
- (5) 指定管理者の指定を受けることができる団体の資格
- (6) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (7) 次条第1項に規定する申請書等に関する事項
- (8) 指定管理者の申請を受け付ける期間
- (9) 指定管理者の選定の基準及び方法
- (10) その他教育委員会が必要と認める事項

2 条例第13条の規定による公告は、郡山市公告式条例(昭和40年郡山市条例第2号)第2条第2項の掲示場に掲示することにより行うものとする。

### (申請書等)

第7条 条例第14条第1項の規定による申請は、指定申請書(第4号様式)に次に掲げる書類を添付して行うものとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書
- (2) 科学館の管理の業務に関する収支予算書
- (3) 定款、寄附行為又はこれらに準じる規約を記載した書類
- (4) 法人にあっては、登記事項証明書
- (5) 法人でない団体にあっては、役員の名簿及び住所を記載した書類
- (6) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における貸借対照表、損益計算書その他の団体の財務の状況を明らかにすることができる書類
- (7) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における団体の事業の内容を明らかにすることができる書類
- (8) 納税証明書等郡山市税に係る団体の納税状況を証する書類その他これらに準じる書類
- (9) その他教育委員会が必要と認める書類

2 条例第14条第2項第4号の規則で定める要件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 申請した団体の取締役、執行役その他これらに準ずべき者のうちに次のいずれかに該当する者がいないこと。
  - ア 破産者で復権を得ないもの
  - イ 指定管理者の指定を取り消された団体において、当該取消しの日前30日以内にその取締役、執行役その他これらに準ずべき者であった者で、条例第13条の規定による公告又は指名の日(以下「公告等の日」という。)において、当該取消しの日から起算して2年を経過しないもの

ウ 禁錮以上の刑に処された者で、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から起算して、公告等の日において2年を経過しないもの

エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員

(2) 本市の議会の議員又は市長が取締役、執行役その他これらに準ずべき者を務める団体(市長にあつては、市が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資し、又は出えんしている法人を除く。)でないこと。

(3) 教育委員会が必要と認める資格を有する者を配置できること。

#### (選定通知)

第8条 条例第15条第2項の規定による通知は、選定結果通知書(第5号様式)によるものとする。

#### (指定通知)

第9条 条例第16条第1項の規定により指定をするときは、指定通知書(第6号様式)により申請した団体に通知するものとする。

#### (協定締結事項)

第10条 条例第17条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書に記載された事項
- (2) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (3) 科学館の管理に伴い取得し、又は作成した個人情報の保護及び情報の公開に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 利用料金に関する事項
- (6) 指定管理者の指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (7) その他教育委員会が必要と認める事項

#### (事業計画書等の変更)

第11条 条例第22条第1項ただし書の規則で定める軽微な事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定管理者の本店、支店、事務所等の所在地の変更
- (2) 指定管理者の取締役、執行役その他これらに準ずべき者の変更
- (3) その他教育委員会が軽微であると認める事項

#### (委任)

第12条 この規則で定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成13年10月1日から施行する。

附 則(平成15年教委規則第11号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年教委規則第9号)

この規則は、公布の日から施行する。

\* 各種様式省略

## 2 利用案内

### <普通観覧料>

| 区 分      | 常設展示 | 宇宙劇場 |
|----------|------|------|
| 一 般      | 400円 | 400円 |
| 高校生・大学生等 | 300円 | 300円 |
| 小中学生     | 200円 | 200円 |
| 幼児・65歳以上 | 無料   | 100円 |

※宇宙劇場の幼児・・・座席を使用しない場合は無料  
※団体割引・・・20人以上の団体は20%OFF

### <定期観覧料(ワンイヤーパスポート)>

| 区 分      | 常設展示・宇宙劇場共用<br>(同一人が1年間観覧する場合) |
|----------|--------------------------------|
| 一 般      | 4,000円                         |
| 高校生・大学生等 | 3,000円                         |
| 小中学生     | 2,000円                         |

### <宇宙劇場番組開始時刻>

| 投映回数 | 平 日   | 土・日・祝日             |
|------|-------|--------------------|
| 1 回目 | 10:15 | 11:00              |
| 2 回目 | 11:30 | 12:30              |
| 3 回目 | 14:00 | 14:00              |
| 4 回目 | 15:30 | 15:30              |
| 5 回目 |       | 17:00              |
| 6 回目 | 19:00 | ※金曜日のみ<br>(祝日を除く。) |

※番組開始時刻は変更になる場合があります。

### <開館時間>

常設展示・・・10：00～17：45（入場は17：00まで）

宇宙劇場・・・10：00～17：45（入場は17：00まで）

※金曜日は10：00～19：45（入場は19：00まで）

### <休館日>

毎週月曜日（その日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12/28～1/4）

※機器点検等により臨時に休館となる場合有

### <展望ロビー>

10：00～20：00

### 3 スペースパークボランティアの会会則

#### スペースパークボランティアの会会則

##### (名称・事務所)

第1条 本会は「スペースパークボランティアの会（略称S. P. Vという）」と称し、事務所を郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という）内に置く。

##### (目的)

第2条 本会は「市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与する。」という科学館の設置目的に基づき、科学館の協力者として、また生涯学習者として、自主性をもって活動することにより、会員の資質向上と会員相互の交流を図ることを目的とする。

##### (活動・種別)

第3条 会員は本会の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 施設案内や展示の解説・来館者の観覧支援
- (2) 本会及び科学館主催事業の支援
- (3) 会員の研鑽及び親睦を図る活動
- (4) その他必要な活動

2 活動は科学館と協議の上、実施する。

3 活動項目は、随時拡充していくものとする。

4 活動内容により、次の活動グループを置く。

- (1) 案内グループ
- (2) 科学グループ
- (3) 天文グループ

##### (会員)

第4条 本会の会員は、スペースパークボランティアの会の登録者をもって構成する。

2 会員に会長名で登録証を発行する。

3 会員の資格は、1年とする。ただし、登録の更新は妨げない。

##### (研修)

第5条 会員は、活動に必要な所定の研修を受講しなければならない。

- (1) 一般研修 活動を適正かつ円滑に行うための基本研修
- (2) 専門研修 活動に必要な専門知識を習得するための研修
- (3) その他会員の資質向上を図るための研修

##### (役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副 会 長 2名
- (3) 運営委員 若干名

2 運営委員は、自薦及び会員の推薦で選出する。

3 会長及び副会長は、運営委員の互選により選出し、総会の承認を得る。

4 役員は本会の運営や活動に関し必要な事において、科学館職員の助言を得ることができる。

5 役員の任期は1年とし、再任は妨げない。

##### (職務)

第7条 会長は本会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときはその職務を代行する。

3 役員は会議に出席し、会務の重要事項の審議とその執行にあたる。

### **(会議)**

第8条 本会の会議は、総会及び役員会とし、会長が召集する。

- (1) 総会は原則として年1回開催し、活動報告・計画立案、役員を選出などを協議する。
- (2) 役員会は、必要に応じ開催することができる。
- (3) 総会は、過半数の出席（委任状を含む。）により成立する。

2 本会に次の部会を置く。

- (1) 総務部会
- (2) 企画部会
- (3) 広報部会

### **(登録資格の失効)**

第9条 会員が次に該当した場合は、登録資格を失う。

- (1) 退会届の提出をした場合
- (2) 特別の理由がなく、6ヶ月以上定められた活動を行わない場合
- (3) 心身の健康上の理由から活動の継続が不可能である場合
- (4) 来館者等への接遇が適切でなく、トラブルを起こした場合
- (5) 政治活動や宗教活動を行った場合
- (6) 本会及び科学館の名誉を傷つけたり、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合
- (7) 営利を目的とした行為を行った場合
- (8) その他、科学館の運営及びボランティア活動に不適切であると認められる場合

### **(年度)**

第10条 この会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

### **(委任)**

第11条 この会則に定めるもののほかに、本会の運営や活動に関し必要な事項は、役員会の総意を得て、別に定める。

### **(改廃)**

第12条 この会則は、総会の承認を得なければ改廃できない。

#### 附 則

- この会則は、平成16年2月15日から施行する。  
この会則は、平成17年3月13日から施行する。  
この会則は、平成18年3月5日から施行する。  
この会則は、平成26年4月1日から施行する。



〈アクセスマップ〉



郡山市ふれあい科学館 スペースパーク  
公益財団法人郡山市文化・学び振興公社

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11番1号(ビッグアイ20~24階)

Tel 024-936-0201 Fax 024-936-0089

<http://www.space-park.jp>

(携帯電話からもアクセスできます)

e-mail [info@space-park.jp](mailto:info@space-park.jp)



©松本零士 / 郡山市

エンゼルナ & ミーニャン